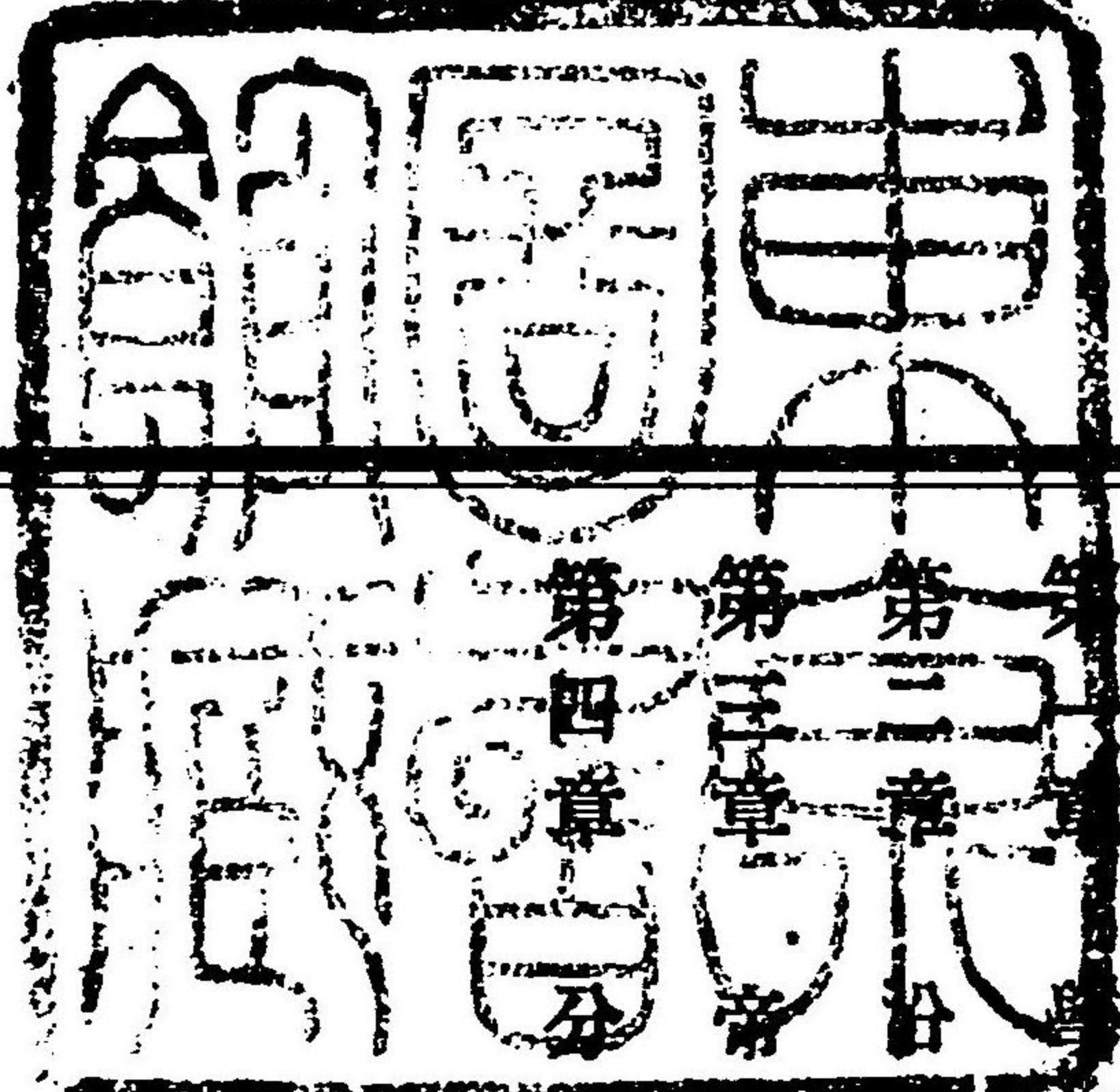


44W5

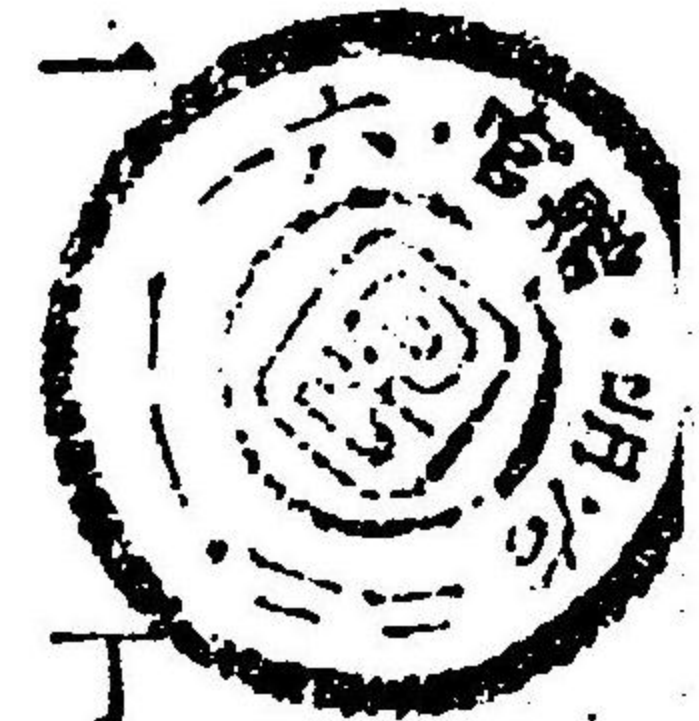
281
2

№ 22985
2



帝國大學一覽目錄

第七	撰科規程	四十一丁
第六	無給及有給助手規程	三十九丁
第五	研究科規程	三十七丁
第四	試業及卒業證書規程	三十二丁
第三	休學規程	三十一丁
第二	入學、在學、退學規程	二十四丁
第一	學年、學期、休業規程	同丁
第四章	帝國大學通則	二十三丁
第三章	帝國大學職員	二十丁
第二章	沿革及組織	三丁
第一章	學年曆	一丁



第八章	特待學生規程	四十三丁
第九章	貸費規程及貸費生員數	同丁
第十	研究生學生生徒學術研究 旅行規程	五十六丁
第十一	授業科及其他ノ費用	五十九丁
第十二	給貸費返納	同丁
第十三	學生ノ寄宿及取締	六十丁
第十四	遊嬉運動	六十四丁
第五章	法科大學	六十六丁
第一	職員	同丁
第二	學科課程	六十八丁
第六章	醫科大學	七十九丁
第一	職員	同丁
第二	學科課程及實驗場醫院等	八十四丁

第七章	工科大學	百一十一丁
第一	職員	同丁
第二	學科課程及實驗場博物館等	百十五丁
第八章	文科大學	百三十七丁
第一	職員	同丁
第二	學科課程	百三十九丁
第九章	理科大學	百六十六丁
第一	職員	同丁
第二	學科課程及天文臺實驗所 植物園等	百六十九丁
第十章	大學院	百九十三丁
規程	入學	同丁
第十一章	圖書館	百九十八丁
第十二章	學生及生徒姓名	二百九丁

第十三章 學士及卒業生姓名
第十四章 博士姓名

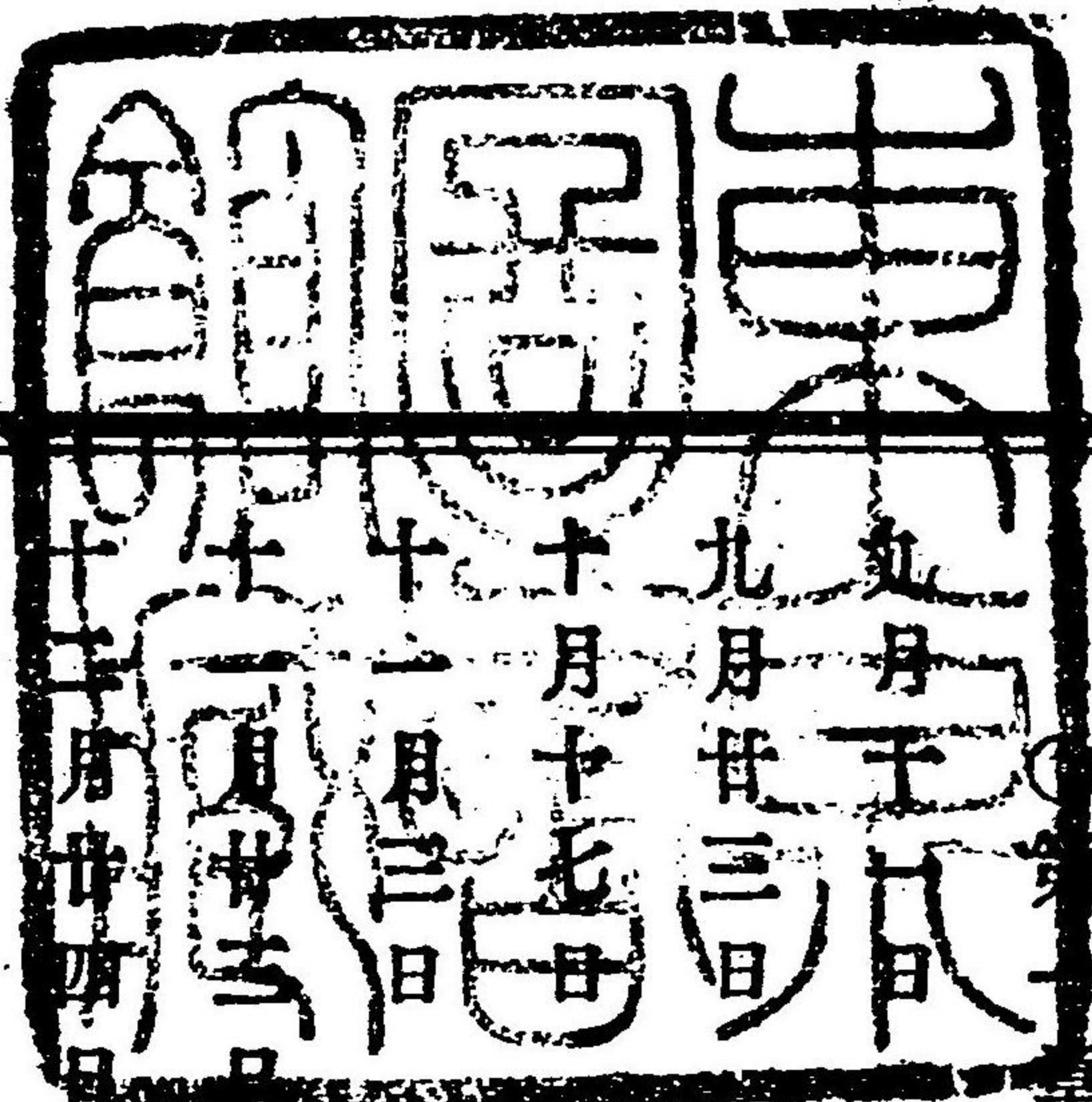
二百六十丁
三百三十五丁

附錄

明治二十二年七月十日卒業證書
授與式ノ節帝國大學總長演說

三百二十九丁

帝國大學一覽



學年曆(明治二十二年二十三年)



九月廿三日	九月廿七日	十月三日	十月十七日	十一月三日	十一月廿七日	十二月廿五日	一月七日	一月八日	一月三十日
第一學期始ル	休業(秋季皇靈祭)	休業(神嘗祭)	休業(天長節)	休業(新嘗祭)	第一學期終ル	冬期休業始ル	冬期休業終ル	第二學期始ル	休業(孝明天皇祭)

○第一章 學年曆

二月十一日	休業(紀元節)
三月一日	休業(帝國大學令公布紀念日)
三月廿一日	休業(春季皇靈祭)
三月三十一日	第二學期終ル
四月一日	春期休業始ル
四月七日	春期休業終ル
四月八日	第三學期始ル
六月十七日	第三學期課業終ル
六月廿一日	學年試業始ル
七月十日	第三學期終ル
七月十一日	夏期休業始ル
九月十日	夏期休業終ル

○第二章 沿革及組織

帝國大學ハ東京大學及工部大學校ヲ合併シテ成ル今其起原ヲ叙スレ
ハ東京大學ハ法理醫文ノ四學部ヨリ成ルモノニシテ法理文ノ三學部
ハ徳川幕府ノ洋學所ニ濫觴シ後開成所ト稱ヘ維新ノ際朝廷之ヲ收メ
テ再興シ明治二年大學ヲ昌平坂ニ置クニ當リ之ニ隸シテ大學南校ト
改メ同四年文部省立ツニ迨テ更ニ其所管ニ歸シ大學ノ二字ヲ刪テ單
ニ南校ト稱シ同五年新ニ學區ノ制ヲ定ムルニ際シ本校ヲ第一番中學
トナシ同六年更ニ開成學校ト改稱シ尋テ是ヨリ先キ經始スル所ノ神
田錦町三丁目二番地ノ營築成ルヲ以テ斯ニ移シ同七年更ニ校名ニ東
京ノ二字ヲ冠シ同十年四月始メテ東京醫學校ト合シテ東京大學トナ
ス乃チ本校ヲ法學部理學部文學部ニ分チ綜理ヲ置キ三學部一切ノ事
務ヲ統ヘシム

醫學部ハ徳川幕府ノ醫學所下谷和泉橋通ニ淵源セリ維新ノ際朝廷亦收メテ

○第二章 沿革及組織

之ヲ再興シ明治二年是ヨリ先キ下谷舊藤堂邸ニ設クル所ノ大病院ニ合シテ之ヲ醫學校兼病院ト稱シ尋テ昌平坂大學ニ隸シテ大學東校ト稱シ同四年文部省ノ所管トナリ大學ノ二字ヲ除キテ單ニ東校ト改メ同五年新定學區ノ制ニ原キ第一大學區醫學校ト改稱シ同七年更ニ東京醫學校ト稱ス同九年是ヨリ先キ經始スル所ノ本郷元富士町ノ營築畧成ルヲ以テ乃チ本校ヲ斯ニ移シ同十年四月始メテ東京開成學校ト合併シテ東京大學トナリ本校ヲ東京大學醫學部ト號シ綜理ヲ置テ醫學部一切ノ事務ヲ統ヘシム

同十四年六月十五日東京大學ノ職制ヲ更改シ東京大學總理ヲ置テ法理醫文ノ四學部及豫備門ヲ統轄セシム同十七年八月九日日本學及法文學部ヲ本郷元富士町一番地ニ移ス同十八年八月十四日豫備門本學ノ管理ヲ解カル同九月七日理學部ヲ東京大學構内ニ移シ同二十八日東京法學校ヲ法學部ヘ合併ス同十二月二十五日理學部中ノ機械工學士

木工學探鑛冶金學應用化學等ノ諸學科ヲ分割シテ更ニ工藝學部ヲ置キ文學部中ノ政治學科ヲ法學部ニ移シ法學部ヲ法政學部ト改稱シ理學部附屬造船學科ヲ工藝學部ノ附屬トス

工部大學校ハ明治四年八月工部省ニ於テ工學寮ヲ置キ虎ノ門内舊延岡邸ニ工學校ヲ設置セシニ起源シ同五年三月工學校ヲ大學小學ノ二校ニ分ツ同七年二月小學校ヲ溜池葵町一番地舊河越邸ニ設ク同九年十一月工部美術學校ヲ創設シ本校ニ隸ス同十年一月十一日工學寮ヲ廢シ工學校ヲ改メテ工部大學校ト稱シ工作局ノ管轄ニ歸ス同三月是ヨリ先キ經始スル所ノ校舍新築成ル同十五年六月三十日教頭英國人ヘンリー・ダイエル任期滿ツ氏ハ去ル六年六月中來航シテ教頭ニ任セラシ又土木工學ノ授業ヲ擔當シタリ初メ氏ノ職ヲ奉スルヤ本校ノ創業ニ際セルヲ以テ學課并諸規則ヲ撰定シ校舍ノ構造教場ノ位置等ヲ計畫シ注意周到耐忍能ク勤メ各科ノ教師ヲ統率シ能ク其職ヲ盡スコ

ト幾ノト十年其功勞實ニ勲シトセス故ニ其歸國スルニ臨ミ勳三等ニ叙シ旭日中綬章ヲ贈與セラレ且ツ工部大學校名譽教頭ニ任セラレ同十二月美術學校ヲ廢ス同十八年十二月二十二日工部省廢セラレ、ヲ以テ本校ヲ文部省ニ屬セラル

明治十九年三月一日勅令第三號ヲ以テ帝國大學令ノ公布ニ依リ帝國大學ヲ設置セラレ東京大學及工部大學校ノ事業ヲ繼續ス同九日東京府知事渡邊洪基帝國大學總長ニ任セラレ同四月十二日分科大學諸學科ノ課程ヲ定メ法科工科文科理科ハ三週年醫科ハ四週年トス同二十九日東京職工學校ヲ本學ニ屬セラル同十一月二十九日東京府下ニ設置ノ私立法律學校即チ專修學校明治法律學校、東京專門學校、東京法學校、英吉利法律學校ヲ本學ノ監督ニ付セラレ同十二月十三日相摸國三浦郡三崎ニ理科大學臨海實驗所ヲ設ク同二十年五月二十日勅令第十三號ヲ以テ學位令ヲ公布セラレ其學位ハ博士及大博士ノ二等ニシテ

博士ノ學位ハ法學博士醫學博士工學博士文學博士理學博士ノ五種トシ大學院ニ於テハ定規ノ試験ヲ經タル者ニ之ヲ授與シ大博士ノ學位ハ學科ノ別ナクシテ學問上特ニ功績アリト認メタル者ニ之ヲ授與スルモノトス同六月二十五日文部省令ヲ以テ學位令細則ヲ定メラル同七月七日各分科大學卒業生ハ其學科ニ隨カヒ法學士醫學士藥學科卒業生ハ藥士工學士文學士理學士ト稱スルコトヲ得元東京大學准醫學士及元工部大學校卒業生工學士モニアノ爾來其學修セル事項ニ從フ者ハ帝國大學總長ノ認可ヲ經テ醫學士又ハ工學士ト稱スルコトヲ得セシム同十月四日勅令第五十一號ノ公布ニ依リ東京職工學校本學ノ所轄ヲ離ル同二十一年三月二十三日帝國大學總長職務規程ヲ定メラル同三十一日文部省直轄學校收入金規則ヲ定メラル同五月四日私立法律學校本學ノ監督ヲ離ル同六月一日東京天文臺ヲ本學ニ屬セラレ内務海軍兩省所屬天象觀測及編曆ノ事務本學ノ所管ト爲ル同七月三十一日是ヨ

リ先キ本學内ニ經始スル所ノ工科大学新築成ルヲ以テ同學ヲ斯ニ移
 ス同十月三十日臨時編年史編纂掛ヲ置ク内閣臨時修史局廢セラレ從
 來同局着手ノ修史事業ヲ本學ニ屬セラレタルヲ以テナリ同十二月二
 十日是ヨリ先キ本學内ニ經始スル所ノ理科大学新築成ルヲ以テ同學
 ヲ斯ニ移ス

帝國大學ハ文部大臣ノ主管ニ屬シ毎歲國庫ヨリ支出スル所ノ定額金
 ヲ以テ其經費ニ充ツ授業料其他ノ收入金ハ之ヲ蓄積シテ基金ト爲シ
 或ハ必要ノ場合ニ於テハ其幾分ヲ支消ス

帝國大學ハ大學事務所圖書館法科大学醫科大学工科大学文科大學理
 科大学及醫科大学第一醫院ヲ本郷區元富士町ニ設置ス而シテ帝國大
 學植物園ヲ小石川區久堅町ニ東京天文臺ヲ麻布區飯倉町ニ醫科大学
 第二醫院ヲ神田區和泉町ニ帝國大學臨海實驗所ヲ神奈川縣下三浦郡
 三崎ニ設置ス

帝國大學ニ關スル勅令省令訓令ハ左ノ如シ

勅令第三號 明治十九年 三月一日

帝國大學令

- 第一條 帝國大學ハ國家ノ須要ニ應スル學術技藝ヲ教授シ及其蘊奧
 ヲ攷究スルヲ以テ目的トス
- 第二條 帝國大學ハ大學院及分科大学ヲ以テ構成ス大學院ハ學術技
 藝ノ蘊奧ヲ攷究シ分科大学ハ學術技藝ノ理論及應用ヲ教授スル所
 トス
- 第三條 分科大学ノ學科ヲ卒へ定規ノ試験ヲ經タル者ニハ卒業證書
 ヲ授與ス
- 第四條 分科大学ノ卒業生若クハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者ニシテ
 大學院ニ入り學術技藝ノ蘊奧ヲ攷究シ定規ノ試験ヲ經タル者ニハ

學位ヲ授與ス

第五條 帝國大學職員ヲ置ク左ノ如シ

總長 勅任

評議官

書記官 奏任

書記 判任

第六條 帝國大學總長ハ文部大臣ノ命ヲ受ケ帝國大學ヲ總轄シ其職掌ノ要領ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一 帝國大學ノ秩序ヲ保持スル事

第二 帝國大學ノ狀況ヲ監視シ改良ヲ加フルノ必要アリト認ムル事項ハ案ヲ具ヘテ文部大臣ニ提出スル事

第三 評議會ノ議長トナリテ其議事ヲ整理シ及議事ノ顛末ヲ文部大臣ニ報告スル事

第四 法科大學長ノ職務ニ當ル事

第七條 評議會ハ便宜ニ從ヒ帝國大學若クハ文部省ニ於テ開設ス評議會ノ議ニ付スヘキ事項左ノ如シ

第一 學科課程ニ關スル事項

第二 大學院及分科大學ノ利害ノ消長ニ關スル事項

第八條 評議官ハ文部大臣各分科大學教授ヨリ各二人ヲ特選シテ之ニ充ツ

第九條 評議官ハ五箇年ヲ以テ任期トス任期滿ツルノ後時宜ニ依リ更ニ勤績ヲ命スルコトアルヘシ

第十條 分科大學ハ法科大學醫科大學工科大學文科大學及理科大學トス

法科大學ヲ分テ法律學科及政治學科ノ二部トス

第十一條 各分科大學職員ヲ置ク左ノ如シ

長 奏任

教頭 奏任

教授 奏任

助教授 奏任

舍監 奏任

書記 判任

第十二條 分科大學長ハ教授ヨリ特選シテ之ニ兼任ス

分科大學長ハ帝國大學總長ノ命令ノ範圍内ニ於テ主管科大學ノ事務ヲ掌理ス

第十三條 各分科大學ノ教頭ハ教授ヨリ特選シテ之ニ兼任ス

教頭ハ教授及助教授ノ職務ヲ監督シ及教室ノ秩序ヲ保持スルコトヲ掌ル

第十四條 各分科大學ノ教授助教授ノ人員ハ其學科ノ輕重及學生ノ

員數ニ應シテ別ニ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル

勅令第十三號 明治二十年五月二十日

學位令

第一條 學位ハ博士及大博士ノ二種トス

第二條 博士ノ學位ハ法學博士醫學博士工學博士文學博士理學博士ノ五種トス

第三條 博士ノ學位ハ文部大臣ニ於テ大學院ニ入り定規ノ試験ヲ經タル者ニ之ヲ授ケ又ハ之ト同等以上ノ學力アル者ニ帝國大學評議會ノ議ヲ經テ之ヲ授ク

第四條 大博士ノ學位ハ文部大臣ニ於テ博士ノ會議ニ付シ學問上特ニ功績アリト認めタル者ニ閣議ヲ經テ之ヲ授ク

第五條 本令ニ關スル細則ハ文部大臣之ヲ定ム

文部省令第四號

明治二十五年六月廿五日

學位令細則

第一條 博士ノ學位ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ授ク

法科大學所設ノ學科ヲ專攻セシ者ニハ

法學博士

醫科大學所設ノ學科ヲ專攻セシ者ニハ

醫學博士

工科大學所設ノ學科ヲ專攻セシ者ニハ

工學博士

文科大學所設ノ學科ヲ專攻セシ者ニハ

文學博士

理科大學所設ノ學科ヲ專攻セシ者ニハ

理學博士

第二條 大學院ニ入り定規ノ試験ヲ經タル者アルトキハ帝國大學總

長ノ具申ニ依リ文部大臣之ニ博士ノ學位ヲ授ク

第三條 文部大臣ニ於テ大學院ニ入り定規ノ試験ヲ經タル者ト同等

以上ノ學力アリト思慮スル者アルトキハ帝國大學評議會ノ議ニ付

シ評議官總數三分ノ二以上之ヲ是認スルニ於テハ文部大臣之ニ博

士ノ學位ヲ授ク

第四條 博士ノ學位ヲ得ント欲スル者ハ文部大臣ニ申請スルコトヲ

得但申請スル者ハ其履歷書及ヒ其專攻セル學科ノ範圍内ニ屬スル

自著ノ論文一編ヲ差出スヘシ

第五條 帝國大學評議會ハ第三條ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ

試験ヲ行フコトヲ得但試験ヲ受クルト否トハ本人ノ隨意トス

第六條 文部大臣ニ於テ學問上特ニ功績アリト思慮スル者アルトキ

ハ博士ノ會議ニ附ル出席博士三分ノ二以上之ヲ是認スルニ於テハ
 文部大臣之ヲ閣議ニ提出シ其可認ヲ得テ大博士ノ學位ヲ授ク
 第七條 博士ノ會議ハ文部大臣指命スル所ノ委員之ヲ整理ス又博士
 二十名以上出席スルニアラサレハ之ヲ開カサルモノトス
 第八條 博士ノ會議ヲ開クトキハ五週日前ニ官報ヲ以テ開會ノ場所
 及時日ヲ廣告ス
 第九條 第五條ノ試驗ニ關スル規則ハ帝國大學總長之ヲ定ム
 第十條 學位記ノ様式左ノ如シ
學位令第三條前段ニ該當スル者ノ學位記ニハ綠色輪廓ヲ附シ同
 後段ニ該當スル者ノ學位記ニハ紅色輪廓ヲ附シ同

學位記

族籍位勳爵 姓名

明治二十年勅令第十三號學位令第三條ニ
依リ茲ニ何學博士ノ學位ヲ授ク

文部大臣位勳爵姓名印

省 年 月 日 印

割印 番號

黒色輪廓ヲ付ス

學位記

族籍位勳爵

姓名

明治二十年勅令第十三號學位令第四條ニ依リ茲ニ大博士ノ學位ヲ授ク

文部大臣位勳爵姓名印

省 月 日

印

割印番號

文部省訓令

明治十九年六月廿六日

帝國大學評議會規程

- 第一 帝國大學評議會ハ文部大臣若クハ大學總長必要ト認ムルトキ又ハ評議官三名以上ノ要求アルキ之ヲ開クモノトス
- 第二 議案ハ大學總長ヨリ之ヲ會議ニ付スルモノトス
- 第三 文部大臣ハ本省吏員ヲシテ評議會ニ列セシムルコトアルヘシ
- 第四 大學總長ハ内外ノ教官及吏員ヲ評議會ニ出シテ其意見ヲ陳述セシムルコトアルヘシ
- 第五 議題ハ評議官半數以上出席シ其多數ニ依テ之ヲ可否スルコトヲ得
- 第六 議事ノ顛末ハ書記官筆記シテ大學總長ヨリ之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

〇第三章 職員同職中ノ席次ハ就職ノ順序ニ從フ

總長

渡邊 洪基 東京

評議官

文科大學教授文學博士 外山 正一 静岡
マストル、オフ、アーツ(ミシガン大學)

同

理科大學教授理學博士 菊池 大麓 東京
マストル、オフ、アーツ(英國ケンブリッジ大學)

同

醫科大學教授醫學博士 大澤 謙二 愛知
ドクトル、メヂチー子(ストラスボルク大學)

同

醫科大學教授醫學博士 三宅 秀 東京
パッチエロル、オフ、サイエンセス(コルネル大學)

同

理科大學教授理學博士 矢田部 良吉 東京
リサンシエ、アン、ドロアー(巴里大學)

同

法科大學教授法學博士 木下 廣次 熊本
リサンシエ、アン、ドロアー(巴里大學)

同

法科大學教授法學博士 鳩山 和夫 東京
ドルトル、オフ、シビル、ロー(エール大學)

同

工科大學教授工學博士 辰野 金吾 佐賀
エンジニウール、デ、アール、エ、マニユファクチュール、リサンシエ、エス、シヤンス

同

工科大學教授工學博士 古市 公威 兵庫

書記官

法科大學教授文學士 和田垣 謙三 兵庫

圖書館管理

法科大學教授法學士 宮崎道三郎 三重

同 管理補

文科大學舍監猪俣 昌武 東京
パッチエロル、オフ、サイエンセス(コルネル大學)

植物園管理

理科大學教授理學博士 矢田部 良吉 東京
リサンシエ、エス、シヤンス、マテマチック(フキユルター、デ、シヤンス、ド、パリ)

東京天文臺長

理科大學教授理學博士 寺尾 壽 福岡

法科大學舍監兼醫科工科
文科理科大學舍監心得

清水 彦五郎 福岡

〇第三章 帝國大學職員

醫科大學舍監	山田尙景	東京
工科大學舍監	荒尾邦雄	熊本
理科大學舍監	堀誠太郎	山口
文科大學舍監	猪俣昌武	長崎

○第四章 分科大學通則

第一 學年、學期、休業規程

第一 學年ハ九月十一日ニ始リ翌年七月十日ニ終ル

第二 學年ヲ分テ三學期トス第一學期ハ九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至ル百五日間トシ第二學期ハ一月八日ヨリ三月三十一日ニ至ル八十三日間トシ第三學期ハ四月八日ヨリ七月十日ニ至ル九十四日間トス

第三 冬期休業ハ十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル二週間トシ春季休業ハ四月一日ヨリ同七日ニ至ル一週間トシ夏期休業ハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル二ヶ月間トス

第四 日曜及次ニ掲載スル祭日祝日ハ休業トス

秋季皇靈祭 九月二十三日

神嘗祭 十月十七日

○第四章 分科大學通則

天長節

十一月三日

新嘗祭

十一月二十三日

孝明天皇祭

一月三十日

紀元節

二月十一日

帝國大學令公布紀念日

三月一日

春季皇靈祭

三月二十一日

第五 法科、工科、文科、理科大學授業ハ十一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル迄午前八時三十分ヨリ始メ四月八日ヨリ十月三十一日ニ至ル迄午前八時ヨリ始ム、醫科大學授業ハ九月十一日ヨリ三月三十一日ニ至ル迄午前八時ヨリ始メ四月八日ヨリ七月十日ニ至ル迄午前七時ヨリ始ム

第二 入學、在學、退學規程

第一 入學ノ期ハ每學年ノ始メ一回トス

第二 分科大學第一年級ニ入ルヲ得ルニハ高等中學校若クハ文部大臣ニ於テ之ト同等ノ學科程度ヲ具備スルト公認シタル學校ノ卒業證書ヲ受領シタル者若クハ本學ニ於テ試問ヲ爲シ之ニ等シキ學力アリト認ムル者ニ限ル

第三 第二年級以上ノ級ニ入ルヲ望ムモノハ先ツ第一年級ニ入ルニ適當ナル資格ヲ備フルヤ否ヲ檢定シ尋テ其入ラント欲スル級ノ學生ノ履踐セシ諸學科ノ試問ヲ受ケシメ入學ノ許否ヲ定ム

第四 分科大學學生ニシテ退學セシ者嘗テ學修ヒシ學科ヲ再修セント欲シ更ニ入學ヲ請フトキハ第一學期ヨリ原級以下ニ入學ヲ請フ者ニ限リ試問ヲ須ヒス之ヲ許可スルコトアルヘシ

第五 分科大學學生ニシテ退學セシモノ更ニ他ノ學科ヲ修メント欲シ入學ヲ請フトキハ第二項第三項ニ準シ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第六 入學ヲ願フ者ハ第一號若クハ第二號書式ニ準シ分科大學長ヘ願出ツヘシ

第七 入學試問ヲ要スルモノハ入學受験料金五圓ヲ帝國大學會計課ニ差出スヘシ

但若シ試問施行ノ前ニ於テ自己ノ都合ニ依リ入學願ノ取消ヲ乞フコトアルハ其受験料ヲ返付スヘシ

第八 入學許可ヲ得タル者ハ誓式ヲ行ヒ學生簿ニ記名シ且ツ正副保證人ヨリ第三號書式ニ準シ在學證書ヲ差出スヘシ

但正副保證人ハ共ニ丁年以上ニシテ東京府内ニ居住シ土地若クハ家屋ヲ有スルモノ又ハ本學ニ於テ適當ナリト認ムル者ニ限ル

第九 保證人或ハ副保證人死去若クハ前項ニ掲クル資格ヲ失フトキハ直ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ第三號書式ニ準シ更ニ證書ヲ差出スヘシ

シ

第十 保證人或ハ副保證人四週日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキハ先ツ委任狀ヲ與ヘタル代理人ヲ定メ發途前ニ其旨ヲ届出ツヘシ

但正副保證人共同時ニ旅行セントスルトキハ其四週日以内ハ委任狀ヲ與ヘタル代理一人四週日以上ハ代理二人ヲ定メテ發途前ニ其旨ヲ届出ツヘシ

第十一 學生疾病ニ罹リ當該ノ學科ヲ致修スル能ハサルヲ以テ他ノ學科ニ轉學セント欲スルトキハ學年ノ始メ一ヶ月以内ナレハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十二 學生品行不良學業懈怠若クハ疾病等ノ故ヲ以テ成業ノ目的ナシト大學總長ノ認定シタル者ハ其分科大學長ハ之ニ退學ヲ命スヘシ

第十三 學生退學セント欲スル者ハ保證人連署ノ上願出ツヘシ

第一號書式(入學試問者)

入學願書

某儀某科大學第一年級へ入學志願ニ付別紙某學校卒業證書相添入學御許可ヲ恭請候也

宿所

本籍族(戶主ナラサレハ或ハ弟等)

年月日

某學校卒業生 何 某 印

何年何月生

某科大學長何某殿

第二號書式(入學試問者)

入學願書

某儀某科大學第何年級へ入學志願ニ付別紙學業履歷書及卒業證書アレハ其證書相添入學御許可ヲ恭請候也

宿所

本籍族(戶主ナラサレハ或ハ弟等)

年月日

何 某 印

何年何月生

某科大學總長何某殿

第三號書式

在學證書 一錢證券印紙ヲ貼ス

宿所

本籍族(戶主ナラサレハ或ハ弟等)

何 某

右ノ者今般入學ノ御許可ヲ得候ニ付テハ同在在學中ニ係ル一
切ノ事件某等ニ於テ引受クヘキコト謹テ保證候也
但向後某等宿所移轉或ハ印章相改候節ハ速ニ届出ツヘク候
也

何年何月生

宿所

本籍族

保證人

何 某 印

何年何月生

宿所

本籍族

副保證人

何 某 印

何年何月生

某科大學長何某殿
前書保證人ハ丁年以上ニシテ東京府下ニ土地若クハ家屋ヲ
有スル者ニ候也

某郡區長何 某 印

前書副保證人ハ前同文

某郡區長何 某 印

(本學ニ於テ適當ナリト認ムル者ハ郡區長ノ與印ヲ要セス)

第三 休學規程

第一 分科大學學生疾病ニ罹リ滿二ヶ月以上修學シ能ハスト思慮ス
ルトキハ豫メ分科大學長ニ願出テ其許可ヲ得テ該學年間休學スル
コトヲ得

第二 休學ノ許可ヲ得タル學生ハ次學年ノ始メヨリ其原級ニ入り修
學スルモノトス

第三 學生休學學年間ハ授業料ヲ徵收セス給費若クハ貸費ヲ受クル者ハ之ヲ停止ス

但休學學年間ト雖モ疾病平癒スルトキハ許可ヲ得テ教場へ出席スルコトヲ得此場合ニ於テハ授業料ヲ徵收ス

第四 休學ヲ願出ツル者アルトキハ分科大學長ハ醫科大學第一醫院長ニ照會シ該院長ノ證明ヲ經テ之ヲ適當ナリト認ムルトキハ休學ヲ許可スヘシ

第五 第一醫院長ハ前項ノ照會ヲ受ケタルトキハ委員ヲ命シ其疾病ヲ診斷セシメ意見書ヲ分科大學長ニ送付スヘシ

第四 試業及卒業證書規程

第一 學年試業ハ毎年六月二十一日當日ハ二十日ナリ以テ始メ都テ本學年中ニ履修セシ諸課目ノ試業ヲ受ケシム尤第一學期或ハ第二學期中ニ授業ヲ完了シタル課目ハ其之ヲ完了シタル時ニ於テ試業ヲ

爲スモ妨ナシトス

各學科實驗ノ業ニ就テハ受持教員ノ見込ニ由リ學年試業ヲ施行セサルコトアルヘシ

但醫科大學醫學科第四年生及藥學科第三年生ハ卒業試問ニ包含スル學科ニ於テ學年試業ヲ施行セス

第二 一課目ノ學期評點數ハ學期中學生平常從事ノ課業ニ就キ筆記ノ試業或ハ作文實驗等其他受持教員ノ見込ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

但何等ノ事故ニ拘ハラズ本條ノ評點ヲ得サルモノニハ零點ヲ付ス

第三 一課目ノ學年評點數ハ學年ノ終ニ於テ學期評點平均數ノ二倍ニ學年試業ノ評點數ヲ加ヘ三ヲ以テ其和ヲ除シテ得ルモノトス尤一課目ノ授業一學期ニ畢ルトキハ其學期評點數ヲ以テ平均數ト看

做シ本條ニ準シテ計算スルモノトス
 但シ學年試業ハ施行セサル各學科實驗ノ業ニ於テハ學期評點平均數ヲ以テ學年評點數トス
 第四 學年諸課目評點平均數ハ總課目ノ學年評點數第三條ノ方法ニ由リテ得タル者ノ和ヲ課目ノ數ヲ以テ除シテ得ルモノトス
 第五 學期評點數ハ每學期ノ終ニ於テ各教員ヨリ學長ニ申報スルモノトシ學年試業評點數ハ試業後直チニ申報スルモノトス
 第六 學年ノ終ニハ學業ノ優劣ニ隨テ列次セル各學生ノ級表ニ及落ヲ附載シテ之ヲ揭示ス
 第七 每學年ノ終リニ於テ左表ノ定規ニ據リ學生ヲ昇降又ハ退學セシム而シテ試業ニ合格セサル者ハ何等ノ事故ニ拘ハラズ再試業ヲ受クルコトヲ得ス

諸課目評點平均數	試業ニ合格セサル課目ノ數	一課目ノ學年評點數六十以下ノ者		處分
		最下點	下點	
六十以上	無			昇級
同	一課目	五十以上		同
同	同	五十以上		降級 <small>(學年試業評點數或ハ學期評點平均數六十以上ナレハ)</small> 昇級
同	二課目	五十以上		同 <small>(一課目ノ學年試業評點數或ハ學期評點平均數六十以上ナレハ)</small> 同
同	同	四十以上 五十以下	五十以上	同 <small>(二課目共ニ學年試業評點數或ハ學期評點平均數六十以上ナレハ)</small> 同
同	同	五十以下		同
同	上三課目以	六十以下		同
六十以上	ハ一課目或	六十以下		同
同	上三課目以	四十以上		同
同	同	四十以下		退學

四十以上 五十以下	一課目	五十以下	降級
同	二課目以 上	五十以下	退學
四十以下	一課目以 上	四十以下	同

第八 學年試業ニ缺席シタルモノハ降級セシム尤該試業ノ課目ニ就テ得タル學期評點平均數第七項ニ掲クル表ニ照シ昇級ノ格ニ該レハ特別試業ヲ受クルコトヲ得但シ特別試業ハ次學年ノ始メニ於テ施行ス

第九 第七項ニ據リ降級シタルモノハ次學年第一學期ヨリ原級ノ全課目ヲ再修セシム

但前學年試業ニ合格シタル課目中其學年ニ於テ授業全ク畢リタルモノニ限り平常課業ニ缺席スルヲ許スコトアルヘシ尤平常試業并ニ學年試業ハ必ラス之ヲ受ケシムルモノトス

第十 第七項ニ據リ降級シタル者次學年ニ於テ再ヒ降級スルトキハ

退學セシム

第十一 每學年ノ終リニ於テ法工文理科大學第三年級學期評點平均數及ヒ學年試業評點數トモ第七項ノ昇級ノ格ニ合フモノ及醫科大學ノ卒業試問ニ及第スルモノハ帝國大學令第三條ニ依リ分科大學ヨリ卒業證書ヲ與フ

第十二 各分科大學卒業生ハ其學科ニ隨ヒ法學士醫學士醫藥科卒業生工學士文學士理學士ト稱スルコトヲ得元東京大學准醫學士及元工部大學校卒業生工學士ニアルモノノ爾來其學修セル事業ニ從フモノハ帝國大學總長ノ認可ヲ經テ醫學士又ハ工學士ト稱スルコトヲ得

第五 研究科規程

第一 研究科ハ大學院學生及ヒ各分科大學卒業生ニシテ既修ノ學科ヲ更ニ研究スルモノ、爲メニ之レヲ設ク但シ大學院學生ニアラスシテ研究生タラシコトヲ願出ルモノハ分科大學ノ都合ニ依リ許可

- 第二 研究生ハ給費及ヒ自費ノ二種トス
- 第三 給費研究生ハ特別獎勵ヲ要スル學術若クハ技藝ヲ攻究スルモノニ限リ評議會ノ議ヲ經テ各分科大學長之ヲ命シ定規ノ手當及學術研究ノ費用ヲ給ス
- 第四 給費研究生ハ各學資一ヶ月金拾五圓ニ應シ月未滿ノ端數ハ日數以內ヲ受ケ攻究ノ爲メ各學科ニ就キ定ムル所ノ旅費ヲ受クルコトヲ得但授業料ヲ納ルヲ要セス
- 第五 自費研究生ハ他ノ學生ト一般ノ授業料ヲ納メ其他學術研究ノ費用ヲ自辨セシム但必要ト認ルトキハ(評議會ノ議ヲ經テ)旅費又ハ其他ノ費用ノ全部若クハ一部ヲ給與スルコトアルヘシ
- 第六 研究ノ期限ハ一ケ年以上二ケ年以內トス但大學院學生ニ限リ延期スルコトアルヘシ

- 第七 研究生ニシテ品行不良學業懈怠若クハ疾病事故ノ爲メ成業ノ目的ナキモノハ評議會ノ議ヲ經テ之ヲ除名スヘシ
 - 第八 研究滿期ニ際シ在學中ノ履歷及研究セシ科目ニ就キ論文ヲ作リ當該教授ノ檢閱ニ供シ該教授ハ之ニ意見書ヲ付シテ分科大學長ニ出スヘシ
 - 第九 分科大學長ハ其在學中ノ履歷及論文ニ就キ教授ノ意見書ヲ滿足ナリト認ルトキハ之ヲ證明シテ研究生ニ交付シ帝國大學總長ニ其詳細ヲ申報スヘシ
 - 第十 研究生ハ保證人ヲ要セス而シテ寄宿舎ニ寄宿セント欲スルモノハ本學ノ都合ニ依リ之ヲ許可スヘシ
 - 第十一 入學ノ規程授業料ノ金額其他ノ諸規則特ニ研究生ノ爲メニ定ムルモノ、外ハ正科生ト同シク之ヲ遵守スヘキモノトス
- 第六 無給及有給助手規程

無給助手規程

- 第一 分科大學ノ各教室實驗所及醫院ニ無給助手ヲ置ク
- 第二 無給助手ハ大學院若クハ分科大學ヲ卒業シタル者ニ限リ其志願ニ依リ帝國大學評議會ノ議ヲ經テ總長之ヲ命ス
- 第三 無給助手ハ其身分職掌分科大學助手ニ異ナルコトナク總テ帝國大學一般ノ規則ヲ遵守スヘシ
- 第四 無給助手ノ滿二ケ年以上職務ニ從事シタルモノニハ分科大學長ノ申稟ニ依リ評議會ノ議ヲ經テ總長ヨリ功績證明書ヲ交付スルコトアルヘシ

有給助手規程

- 第一 分科大學有給助手ハ各教室實驗所醫院等ニ定員ヲ設ケ各員月給拾五圓以内ヲ給スヘシ但シ特別ノ事由アルモノハ分科大學長ノ稟請ニ依リ拾五圓以上ヲ給スルコトアルヘシ
- 第二 分科大學有給助手ハ無給助手規程第四項ニ準シ功績證明書ヲ交付スルコトアルヘシ

第七 撰科規程

- 第一 法科、工科、文科、理科ノ各分科大學課程中一課目又ハ數課目ヲ撰ヒテ專修セント欲シ入學ヲ願出ル者ハ各級正科生ニ闕員アル時ニ限リ撰科生トシテ之ヲ許可ス
- 第二 醫科大學ニ於テハ文部大臣ニ於テ認可セル醫學校ニ於テ卒業シタル者若クハ醫科大學ノ試問ニ應答シ之ト同等ノ學力アル者ニ限リ前項ニ準シ之ヲ許可ス
- 但シ特別ノ事情アル者ハ帝國大學總長ノ認可ヲ經テ入學ノ定期ニ拘ハラス許可スルコトアルヘシ
- 第三 撰科生ハ英佛獨ノ語學ヲ撰ムコトヲ得ス但シ所撰ノ課目ヲ專修スルニ必要ナルキハ之ヲ兼修スルコトヲ得

- 第四 撰科生ハ年齡十九年以上ニシテ第二項ニ掲クル醫學校ニ於テ卒業シタル者ノ外撰科主管ノ教授ニ於テ試問ヲ爲シ所撰ノ課目ヲ學修スルニ堪ユル者ニ限リ其入學ヲ許可スルモノトス
- 第五 法科、工科、文科、理科ノ各分科大學ノ學生ニシテ退學セシモノ更ニ撰科生トシテ入學ヲ願出ルトキハ之ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第六 撰科生ハ正科生ト共ニ試業ヲ受ケ學期評點及學年試業評點トモ正科生異級ノ格ニ合フ者ハ願ニ依リ分科大學ヨリ證書ヲ與フヘシ
- 第七 入學ノ規程受業料ノ金額其他ノ諸規則特ニ撰科生ノ爲メニ定ムルモノ、外ハ正科生ト同シク之ヲ遵守セザルヘカラス
- 第八 各分科大學ノ學生ニシテ當該學級正科ノ外同學科中若クハ他學科中ニテ二課目以內ヲ撰ミ兼修セント請フ者ハ正科并撰科主管教授ノ保證ニヨリ許可スルコトアルヘシ但シ自己ノ學科中上級ノ

- 課目ヲ撰ムコトヲ得ス
- 第九 凡ソ所撰ノ課目ハ成業ニ至ルマテ之レヲ轉換スルヲ許サス
 - 第八 特待學生規程
 - 第一 學術優等品行方正ナル學生ヲ撰ヒテ各分科大學ノ特待學生ト爲ス
 - 第二 特待學生ハ每學年末其學年試驗ノ成績ニ依リ帝國大學總長ノ認可ヲ經テ各分科大學長之ヲ定ム
 - 第三 特待學生ハ授業料ヲ徵收セス
 - 第四 特待學生其學年内ニ於テ品行不良學業懈怠若クハ疾病ニ罹リ成業ノ目途ナキ者ハ之ヲ除名ス
 - 第九 貸費規程及貸費生員數
 - 第一 分科大學學生ニシテ特別保護ヲ要スル學科ヲ修メ學力優等品

- 行方正ニシテ學資支辨ノ途ナキモノハ分科大學ヨリ當該學年内年額八拾五圓以内ノ貸費ヲ支給スルコトアルヘシ
- 第二 官廳會社又ハ一私人ノ依託ニ應シ分科大學學生ニ其貸費ヲ支給スルコトアルヘシ
- 第三 貸費ヲ與フヘキ學生ハ其貸費者ノ示命ニ從ヒ其貸費ヲ受ケタル年數ト均キ期限内某事業ニ從事セシムル爲メ及獎學ノ爲メ貸費スル者ノ二種トス
- 第四 貸費ヲ受ケタル者ハ總テ卒業ノ上其貸費ヲ受ケタル年數ト均キ期限内ニ於テ之ヲ月賦返納スヘシ但獎學貸費金ハ壹ケ年六分ノ利子ヲ附スヘシ
- 第五 會社又ハ一私人ノ貸費ヲ受ケタル者其貸費者ノ許可ヲ得テ其示命シタル事業ニ從事セザルトキハ其許可ヲ得タル當日ヨリ日數三十日以内ニ在リテ貸費ノ金額ニ對シ一ケ年六分ノ利子ヲ附シ一

- 時ニ之ヲ返納スヘシ
- 第六 貸費金ニ附スヘキ利子ノ金額ハ貸費ヲ受クル者其貸費金ヲ受領シタル當日ヨリ返金當日迄ノ日數ニ應シ算定スヘシ
- 第七 會社又ハ一私人ヨリ貸費資金ヲ差出ストキハ其目的ニ從ヒ甲乙ノ式ニ依リ開陳書二通ヲ差出シ帝國大學總長ノ許諾ヲ受クヘシ其一通ハ出金者之ヲ受領シ一通ハ帝國大學ニ留存スヘシ
- 第八 貸費ヲ受ケント欲スルモノハ其學業ノ目的及理由ヲ具シタル願書ヲ分科大學長ニ差出スヘシ
- 第九 貸費ヲ受クルモノハ其目的ニ從ヒイ、ロ、ハノ式ニ依リ誓約證書二通ヲ差出スヘシ其官廳會社等ヨリノ委託ニ係ルモノハ一通ハ出金者ニ送付シ他ノ一通ハ出金者ノ開陳書ト共ニ帝國大學ニ留存スヘシ
- 第十 貸費金ハ學生ノ志願ト帝國大學總長ノ意見ニ依リ預定ノ金額

以內ヲ給シ各出金人ヨリ差出シタル金額ニ餘裕アルトキハ該出金人ノ定メタル員數外ニ學生ヲ撰ヒ貸費スルコトアルヘシ
第十一 貸費金ノ取扱ハ總テ帝國大學會計課ニ於テ之ヲ爲スヘシ
第十二 貸費學生品行不頁學業懈怠若クハ疾病ニ罹リ成業ノ目途ナキモノハ其貸費ヲ廢止ス

出金者開陳書書式用紙美濃紙正副二通

甲號

何科大學學生何名分學資トシテ年年金何圓三月八月兩度ニ分テ帝國大學へ差出候間相當ノ學生御人撰貸與相成度尤右學生卒業ノ上ハ某事業ニ從事爲致度儀ニ有之候間此旨兼テ誓約御申付相成度此段開陳候也

住所族籍

姓名印

年月日

帝國大學總長某殿

乙號

獎學ノ爲メ何科大學學生何名分學資トシテ年年金何圓三月八月兩度ニ分テ帝國大學へ差出候間相當ノ學生御人撰貸與相成度尤右學生卒業ノ上從事ノ職業等別ニ制限不致候間貸與學資ハ直ニ帝國大學へ返納爲致更ニ他學生ニ御貸與相成學生増加候様致度此段開陳候也

住所族籍

姓名印

年月日

帝國大學總長某殿

貸費生誓約書式 用紙同上 印紙貼用

イ號

分科大學又ハ他官廳貸費生誓約書式

拙者儀今般何々貸費生ニ相成候ニ付テハ貸費規程ニ從ヒ卒業ノ上
貸費ヲ受ケタル年數ト均キ期限内ハ一意必貴學(又ハ某應)ヨリ示命
セラレタル職務ニ從事シ貸與ノ資金ハ右期限内ニ於テ月賦返納可
仕此段誓約候也

某科大學學生

年月日

姓 名 印

帝國大學總長某殿

口號

會社又ハ一私人貸費生誓約書式

拙者儀今般何々貸費ヲ相受候上ハ貸費規程ニ從ヒ卒業ノ後一意某
ノ事業ニ從事シ貸與ノ資金ハ右期限内ニ於テ某へ月賦返納可致特
ニ許可ヲ受ケ某ノ示命シタル事業ニ從事不致候節ハ其資金ニ對シ
一ケ年六分ノ利子ヲ附シ一時ニ返納可仕此段誓約仕候也

何科大學學生

年月日

姓 名 印

帝國大學總長某殿

ハ號

獎學貸費生誓約書式

拙者儀今般某獎學貸費ヲ相受候上ハ貸費規程ニ從ヒ卒業ノ後其貸
費ヲ受ケタル年數ト均キ期限内ニ於テ其資金ニ對シ一ケ年六分ノ
利子ヲ附シ帝國大學へ月賦返納可仕此段誓約仕候也

何科大學學生

年月日

姓 名 印

帝國大學總長某殿

貸費生員數

前學年以後分科大學貸費規程ニ從ヒ醫科大學文科大學理科大学ニ貸

費生數名ヲ置キ及官廳會社其他一私人ヨリ分科大學學生ニ貸費セシ
コトヲ依託セリ其員數等左ノ如シ

醫科大學貸費(藥學科) 一名

文科大學貸費 六名

理科大學貸費 八名

右三項ノ貸費ハ各大學ノ經費ヨリ支出シ其大學學生志願者ノ内
ヨリ選定ス

文部省貸費 七名

卒業ノ後中學校若クハ師範學校教員ノ職ニ從事セシメシメカ爲メ
法科大學政治學科文科大學及理科大學學生志願者ノ内ヨリ選定
ス

司法省貸費 五十一名

卒業ノ後司法ノ職務ニ從事セシメシメカ爲メ法科大學法律學科學

生志願者ノ内ヨリ選定ス

鐵道局貸費 十一名

卒業ノ後鐵道局ノ事業ニ從事セシメシメカ爲メ工科大學學生志願
者ノ内ヨリ土木工學科七名機械工學科三名及兩學科ノ内一名ヲ
選定ス

內務省土木局貸費 三十名

卒業ノ後土木局ノ事業ニ從事セシメシメカ爲メ工科大學土木工學
科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

農商務省貸費 四名

卒業ノ後農商務省ノ事業ニ從事セシメシメカ爲メ工科大學機械工
學科應用化學科學生志願者ノ内ヨリ各二名ヲ選定ス

三菱社獎學貸費 十一名

獎學ノ爲メ法科大學政治學科理財學科學生及工科文科理科大學

學生志願者ノ内ヨリ選定ス

古河市兵衛獎學貸費 六名

獎學ノ爲メ工科大学探鑛冶金學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

藤田組貸費 三名

卒業ノ後大坂藤田組ノ事業ニ從事セシメンカ爲メ工科大学學生志願者ノ内ヨリ探鑛冶金學科二名應用化學科一名ヲ選定ス

日本土木會社貸費 四名

卒業ノ後日本土木會社ノ事業ニ從事セシメンカ爲メ工科大学學生志願者ノ内ヨリ土木工學科二名及造家學科二名ヲ選定ス

東京電氣燈會社貸費 一名

卒業ノ後東京電氣燈會社ノ事業ニ從事セシメンカ爲メ工科大学電氣工學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

大坂紡績會社貸費 一名

卒業ノ後大坂紡績會社ノ事業ニ從事セシメンカ爲メ工科大学機

械工學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

住友吉左衛門獎學貸費 三名

獎學ノ爲メ工科大学學生志願者ノ内ヨリ選定ス

三井物產會社 一名

卒業ノ後三井物產會社ノ事業ニ從事セシメンカ爲メ工科大学探鑛冶金學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

原亮三郎獎學貸費 十二名

獎學ノ爲メ文科大学及理科大学學生志願者ノ内ヨリ各六名ヲ選定ス

坂界鐵道會社貸費 一名

卒業ノ後坂界鐵道會社ノ事業ニ從事セシメンカ爲メ工科大学機械工學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

製藥士下山順一郎外十七名獎學貸費 一名

獎學ノ爲メ醫科大學藥學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

近藤良薫貸費 二名

卒業ノ後近藤良薫ノ助手ニ從事セシメンカ爲メ醫科大學學生志願者ノ内ヨリ二名ハ第 三 年 生 選定ス

安田善次郎獎學貸費 二名

獎學ノ爲メ工科大學造船科電氣工學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

大橋佐平貸費 一名

獎學ノ爲メ法科大學政治學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

栖原角兵衛貸費 一名

卒業ノ後栖原角兵衛ノ事業ニ從事セシメンカ爲メ工科大學探鑛冶金學科學生志願者ノ内ヨリ選定ス

鹿島岩藏獎學貸費 二名

獎學ノ爲メ工科大學學生志願者ノ内ヨリ選定ス

分科大學貸費生ノ外法科大學ニ於テハ法律學科ニ給費生一名ヲ置ク是舊東京法學校ノ給費生ニシテ其卒業ニ至ルマテ舊例ニ從ヒ給費スルモノナリ又法科大學ニ於テハ陸軍省ノ依託ニ應シ理事生徒七名ニ給費シ卒業ノ後陸軍ニ從事スヘキコトヲ誓約セシメ醫科大學ニ於テハ陸軍軍醫總監ノ依託ニ應シ醫學科學生二十名ニ給費シ卒業ノ後陸軍軍醫ノ職ニ就クヘキコトヲ誓約セシメ工科大學ニ於テハ海軍省ノ依託ニ應シ造船學科學生八名(内造船機學生三名)造兵學科學生二名火藥學科學生一名合シテ九名ニ陸軍省ノ依託ニ應シ造家學科學生十四名ニ給費スルノ準備アリ然レトモ給費志願學生ノ數未タ此準備ヲ充タスニ至ラス且ツ各縣ヨリ地方ノ公費ヲ以テ分科大學ニ入學セシムル學生若干員アリ

舊東京大學ニ於テ小林輝平石黒忠憲印刷局職員有志者ヨリ及故東京大學御用掛江沼元五郎紀念ノ爲メ其友人ヨリ寄贈金若干圓舊工部大學校ニ於テ工部卿以下工部官員三十四人及三井銀行ヨリ寄贈金若干圓アリ各其寄贈者ノ指定スル所ニ從ヒ書器ノ購入學生ノ獎勵補助費等ニ充ツ帝國大學設置ノ後故東京開成學校長畠山義成紀念ノ爲メ其友人ヨリ法學科及化學科學生ノ褒賞金若干圓古河市兵衛ヨリ採鑛冶金學科學生補助費及故東京大學教授市川盛三郎紀念ノ爲メ其友人ヨリ物理學獎勵費若干圓醫學士竹中成憲ヨリ醫科大學第一醫院維持費若干圓獨逸語講談會ヨリ學生補助費若干圓ヲ寄贈シ渡邊彰ヨリ帝國大學基本財産ノ内ヘ年々若干圓ヲ終身寄贈センコトヲ申請セリ

第十 研究生學生生徒學術研究旅行規程

第一 分科大學研究生學生生徒學術研究ノ爲メ旅行ヲ要スルキハ分科大學長ハ總長ノ認可ヲ經テ之ヲ命シ定額内ヲ以テ所定ノ旅費日

當等ヲ支給ス

第二 各分科大學研究生學生生徒ニ旅費ヲ支給スルトキハ左ノ定額以內ニ於テスヘシ

學科	研究生	學生	生徒
學科	研究	二年間ニ受クル金額	學生生徒 第二第三兩學年ニ於テ受クル金額
法學	五	十	圓
病理學	五	十	圓
藥物學	五	十	圓
衛生學	五	十	圓
土木工學	百	八十	二十
機械工學	百	五十	圓
造船學	百	五十	圓
電氣工學	百	六十	圓

造家學	百	六	十	圓
應用化學	九	十	六	十
探礦學	百	八	十	百
文學	五	十	圓	二十
物理學	五	十	圓	十
純正化學	三	十	三	十
地質學	百	八	七	十
植物學	九	十	六	十
動物學	九	十	六	十

但シ學生生徒ハ第二年生以上ニ給スルモノトス工科大學學生生徒ハ特別ノ事情アルトキニ限り第一年生ニモ及ホスコトアルヘシ

第十一 授業料及其他ノ費用

- 第一 分科大學學生ノ授業料ハ一ヶ月金貳圓五拾錢トシ入學ノ月ヨリ退學ノ月マテ毎月之ヲ徵收ス撰科生モ亦同シ
- 第二 夏季休業ノ兩月即チ七月八月分及本學ノ都合ニ依リ臨時ニ全月休業スルトキハ其月分ノ授業料ヲ徵收セス
- 第三 學生疾病其他自己ノ事故ニ依リ全月休業スルコトアルモ授業料ヲ徵收ス
- 第四 授業料ハ毎月定日ニ於テ帝國大學會計掛ニ納付スヘシ其定日後ニ入學シタル者ハ其月ノ授業料ヲ翌月ノ定日ニ於テ納付スヘシ
- 第五 學生必需ノ費用ハ本學寄宿舎若クハ公認寄宿所ニ寄宿スルトキ間ハス授業料寄宿料被服料薪炭等ノ代價ヲ合算シテ一ヶ月大約拾貳圓以下七圓五拾錢以上トス

第十二 給貸費返納

給費及貸費生ニシテ品行不良學業懈怠ニ依リ給費貸費ヲ廢セラレ又ハ退學ヲ命セラレ、トキ若クハ自己ノ都合ヲ以テ給費貸費ヲ辭シ又ハ退學ヲ願フトキハ即時其給費ヲ受ケタル金額ヲ返納スル義ト心得ヘシ

但誓約ニ依リ生シタル義務ハ尙存在スルモノトス

第十三 學生ノ寄宿及取締

分科大學々生ハ寄宿舎ノ建築未タ學生全員ノ需用ニ應スルニ足ラサルヲ以テ人員ヲ限リ之ニ寄宿セシメ其他ノ學生ハ本學公認ノ寄宿所ニ寄宿セシム但シ公認寄宿所ハ本學ヲ距ル凡十町以内ノ地ニ於テ身元相當ニシテ寄宿營業ヲ爲サント欲スルヲ公認ス然レトモ學生自己ノ都合ニ依リ其自宅若クハ父兄ノ住宅又ハ分科大學教授ノ宅ヨリ通學セシコトヲ願フ者ハ之ヲ許可ス

學生ハ其住居及行狀ニ就キ舍監ノ監督ヲ受ク舍監ハ本學諸規則ノ實

施ニ注意シ且ツ學生ノ指導ニ供センガ爲メ細則ヲ設定シ臨時告示ヲ爲スヘシ

學生ノ寄宿ニ關スル諸届願等ハ總テ舍監ニ差出スヘシ

學生ハ常時本學ノ制服ヲ着用シ威儀ヲ正シクスヘシ冬服ハ十一月一日ヨリ五月三十一日マテ夏服ハ六月一日ヨリ十月三十一日マテ着用スルヲ以テ通例トス

學生ハ寄宿舎ニ入り若クハ公認寄宿所ニ在ルトヲ問ハス起臥出入等定刻ニ從ヒ儀容ヲ修メ規則ヲ守リ品行ヲ正クスルヲ以テ必要ノ約款トス

學生ハ舍監ヨリ寄宿舎ニ入ルヘキ告知ヲ受クルトキハ必ス入舎スヘシ此告知ハ每學年ノ始メニ於テ之ヲ爲スヲ通例トス尤モ入舎ノ告知ヲ受ケタルモノ及ヒ公認寄宿所住居ノ者ト雖モ自己ノ都合ニ依リ其自宅若クハ父兄ノ住宅又ハ分科大學教授ノ宅ニ居住センコトヲ願フ

トキハ之ヲ許可ス但給費又ハ貸費生ハ告知ヲ受ケタルトキハ必ス入
舍スヘシ

寄宿學生入退舍ノトキハ寄宿舍名簿ニ記名調印スヘシ

學生ノ在學證書ニ記名セル保證人及副保證人ハ該學生ノ寄宿舍ニ關
スル事項ニ付一切其責ニ任スヘシ

學生ハ其室内ヲ清潔整頓ナラシムヘシ

學生ハ酒類若クハ舍内ノ整式秩序ニ妨害ヲ爲スヘキ物品ヲ携持スル
コト及寢室ニ於テ吹煙スルコトヲ禁ス

學生ハ平日課業ヲ了リタル後午後八時ニ至ルマテ私事ノ爲メ本學ノ
門外ニ出ツルコトヲ得休業日ノ前日ハ午後十時マテ門外ニ在ルコト
ヲ得又休業日ハ晨起ヨリ歸舍時限マテ外出スルコトヲ得

疾病ニ依リ課業ニ缺席スルモノハ醫員ノ特許ヲ得ルニ非サレハ外出
スルコトヲ許サス

學生止ムヲ得サル事故アリテ臨時外出又ハ外宿セシコトヲ要スルト
キハ自カラ其事由ヲ記載シテ願出ベシ

學生歸舍ノ定刻ニ後ル、トキハ自カラ其延刻ノ事由ヲ記載セル證明
書ヲ舍監ニ差出スヘシ但午後十一時本學ノ諸門ヲ閉鎖スルヲ以テ其
時刻ヲ過キ門内ニ入ルコトヲ許サス

止ムヲ得ザル急事又ハ急病ニ依リ歸宿スル能ハスシテ外宿スルモノ
ハ課業ノ有無ニ拘ラス翌朝十時マテニ自カラ其事由ヲ記載セル證明
書ヲ差出スヘシ

學生輕症ノ疾病ニ罹ルトキハ室内ニ於テ醫療ヲ受クルコトヲ得一週
間ヲ經テ治癒セサルカ又ハ重病若クハ傳染病ニ罹ルトキハ保證人ニ
通達シテ下宿又ハ醫科大學病院ニ移轉セシムヘシ

學生疾病ニ罹ルト雖モ醫員ノ意見ニ依リ舍監ヨリ特許ヲ與フルニ非
サレハ室内ニ於テ食事ヲ爲スコトヲ得ス

都テ示達ハ二日ヲ經レハ一般ニ了知セルモノト認ム
 學生規則又ハ時々ノ告示ヲ遵守セス又ハ不良ノ行狀アルトキハ之レ
 ヲ懲戒シ事狀ニ依リテハ禁外出退舍或ハ退學ヲ命ス退舍若クハ退學
 ヲ命スルトキハ官報ニ掲載シテ之レヲ公告ス但シ特待生及ヒ給費生
 又ハ貸費生ニシテ退舍ヲ命スルトキハ其特待給費貸費ヲ罷ムルモノ
 トス

第十三 遊嬉運動

大學構内ノ中央ニ位スル庭園ヲ以テ學生遊嬉運動ノ地ト爲シ戶外運
 動ノ要具ヲ整備ス又墨田川ノ東岸須崎村ニ艇庫ヲ設置シテ端舟ヲ收
 藏シ其樓上ヲ以テ競漕觀覽ノ場所トス
 學生等相謀リ帝國大學運動會ヲ設立シ其規則ヲ定メ總長ヲ推シテ其
 會長ノ任ニ充ツ本學ニ於テハ毎年若干ノ金額ヲ支出シテ其常備器品
 等ノ購入費ヲ補助ス經常費用ノ如キハ會員及會員外教授其他本學職

員ノ寄附金ヲ以テ之ヲ支辨ス
 教授其他本學ノ職員及大學院分科大學ノ學生研究生及卒業生撰科生
 徒ハ會員タルノ權利ヲ有ス毎年春秋二回大會ヲ開キ本學構内ニ於テ
 陸上競技運動及墨田川ノ上流ニ於テ端舟競漕ヲ演ス此會ニ於テハ内
 外朝野ノ貴賓ヲ招待シテ其覽觀ニ供ス
 毎年夏期休業ニ際シ墨田川ノ中流兩國橋ノ南ニ水泳練習所ヲ設ケ適
 任ノ教員ヲシテ學生生徒ニ水泳術ヲ教示セシム
 學生ノ便宜ヲ謀リ本學寄宿舎内ニ於テ學術上ノ集會及音樂唱歌等ノ
 集會ニ供用スヘキ一室ヲ設ケ

○第五章 法科大学

第一 職員

長 帝國大學總長 渡邊 洪基 東京
 教授 教授法學博士 鳩山 和夫 東京
 教授及教師

パリストル、アト、ロー、(ミッドルテンナル)

法理學、羅馬法、英刑法 法學博士 穗積 陳重 東京

ドクトル、リーラム、ポリテカーラム(ストラスボルク大學)

國法學統計學 カール、ラトゲン 獨國

リサンシェー、アン、ドロアー(巴里大學)

佛蘭西民法 法學博士 木下 廣次 熊本

ドクトル、アン、ドロアー(リラン大學)

佛蘭西民法、商法、刑法 法學博士 富井 政章 京都

○第五章 法科大学

理財學 文學士 和田 垣謙三 兵庫

ドクトル、ユーリス(井エナ大學)
パリストル、アト、ロー(カッセル)

羅馬法、訟訴法 ハイニンリッヒ、ワイペルト 獨國

行政法、國際公法、政治論 文學士 末岡 精一 東京

ドクトル、フヒロソヒー、エー(ゲッチンゲン大學)
ゲッチンゲン大學國家學教授

財政學、理財學 ウダー、エツゲルト 獨國

ドクトル、オフ、シビルロー(エール大學)

國際公法、國際私法 法學博士 鳩山 和夫 東京

羅馬法、獨逸語 法學士 宮崎 道三郎 三重

ドクトル、アン、ドロアー(グレイプナル大學)

佛蘭西法律 イボリット、オーキスタン、ルビリヨ 佛國

マストル、ラフ、アイト、バチエロル、チフ、ロー(ハーバード大學)

英吉利法律 アレキサンデル、チヅン 米國

憲法、公法

助教授

文學士

穂積 八 東

愛媛

英吉利法律(英國留學)

法學士

土方 寧

高知

英吉利法律

法學士

岡野 敬次郎

東京

講師

パリストル、アト、ロー(ミッドルテンブル)

訴訟法、證據法

法學博士

岡村 輝彦

東京

治罪法

法學士

寺尾 亨

福岡

バッチエロル、オフアーン(エール大學)

財政學

法學博士

田尻 稻次郎

鹿兒島

民刑訴訟手續實習

法學士

岡山 兼吉

東京

第二 學科課程

本學ニ左ノ二學科ヲ設ケ修業ノ期限ヲ各三ヶ年トス但法律學科ヲ第

一 第二第三ノ三部ニ分ツ

第一 法律學科

第二 政治學科

法律學科

第一部

第一年

契約法

第二二期 第三期 每週五時

私犯法

一年間 每週一時

羅馬法

一年間 每週三時

代理法

第三期 每週三時

英刑法

一年間 每週二時

刑法

一年間 每週二時

訴訟法	一年間	每週一時
佛語(隨意)	一年間	每週三時
訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
第二年		
流通證書法	第一期	每週三時
附托法	第一期	每週二時
賣買法	一年間	每週二時
海上法	第二期	每週二時
會社法	第二期	每週三時
不動產法	一年間	每週二時
憲法	一年間	每週二時
治罪法	一年間	每週二時
佛語(隨意)	一年間	每週三時

訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
第三年		
保險法	一年間	每週一時
衡平法	一年間	每週二時
證據法	一年間	每週二時
法理學	一年間	每週三時
行政法	一年間	每週二時
國際私法	一年間	每週一時
國際公法(隨意)	一年間	每週一時
訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
第二部		
第一年		
民法	一年間	每週七時

刑法	一年間	每週二時
羅馬法	一年間	每週三時
英語(隨意)	一年間	每週三時
訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
第二年		
民法	一年間	每週五時
商法	一年間	每週三時
訴訟法	一年間	每週一時
證據法	一年間	每週二時
治罪法	一年間	每週二時
英語(隨意)	一年間	每週二時
訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
第三年		

民法	一年間	每週六時
國際公法	一年間	每週一時
法理學	一年間	每週三時
行政法	一年間	每週二時
憲法	一年間	每週二時
英語(隨意)	一年間	每週二時
訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
第三部		
第一年		
羅馬法	第一二期	每週六時
羅馬法演習	第三期	每週四時
刑法	一年間	每週二時
理財學	一年間	每週三時

英語(隨意)	一年間	每週三時
訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
第二年		
民法	一年間	每週二時
商法	一年間	每週三時
羅馬法演習	一年間	每週一時
治罪法	一年間	每週二時
國際公法	一年間	每週二時
行政法	一年間	每週二時
理財學	一年間	每週二時
英語(隨意)	一年間	每週二時
訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
第三年		

商法	一年間	每週二時
訴訟法	一年間	每週三時
公法	一年間	每週四時
法理學	一年間	每週三時
理財學	一年間	每週二時
英語(隨意)	一年間	每週三時
訴訟法及治罪法實地演習	一年間	每週二回
政治學科		
第一年		
契約法	一年間	每週三時
私犯法	一年間	每週一時
刑法	一年間	每週二時

理財學	一年間	每週三時
憲法	一年間	每週二時
統計學	一年間	每週一時
獨逸語(讀書)	一年間	每週二時
獨逸語	一年間	每週二時
佛語(隨意)	一年間	每週三時
第二年		
訴訟法	一年間	每週一時
民法	一年間	每週三時
理財史	一年間	每週二時
國法學、行政學	一年間	每週五時
理財學、財政學	一年間	每週四時
理財學演習	一年間	每週二時

統計學	一年間	每週一時
獨逸語(讀書)	一年間	每週二時
佛語(隨意)	一年間	每週二時
第三年		
理財史	一年間	每週二時
民法	一年間	每週二時
行政學	一年間	每週四時
行政法	一年間	每週二時
理財學、財政學	一年間	每週四時
理財學演習	一年間	每週二時
國際公法	一年間	每週一時
財政學	一年間	每週二時
獨逸語(隨意)	一年間	每週二時

佛語(隨意)

一年間 每週二時

(國際公法ト財政學トハ何レカ一ヲ選ムベシ)

- 一 以上諸學科本邦ニ成典若クハ慣例アルモノハ之ヲ講習シ其他法律學科第一部ニ於テハ英吉利法律第二部ニ於テハ佛蘭西法律第三部ニ於テハ獨逸法律ヲ講習セシム
- 一 隨意學科ヲ修メント欲スルモノハ其學科授業ノ學期前ニ於テ法科大學長ノ許可ヲ得ヘシ
- 一 隨意學科ヲ修ムルノ許可ヲ得タルモノハ定期ノ試業ヲ受クベシ其及第者ニハ帝國大學總長ヨリ特ニ該學科修業證書ヲ與フ

○第六章 醫科大學

第一 職員

長 教授醫學博士 三 宅 秀 東京
 教頭 教授醫學博士 大 澤 謙 二 愛 知

教授及教師

醫史 醫學博士 三 宅 秀 東京

ドクトル、メヂチー子(ライプツック大學)

內科學、內科臨床講義 エルウイン、ベルツ 獨 國

ドクトルメヂチー子(ハイデルベルク大學)

外科學、外科臨床講義 シュリウス、スクリパ 獨 國

解剖學 醫學博士 田 口 和 美 東 京

ドクトル、メヂチー子(ストラスボルク大學)

生理學 醫學博士 大 澤 謙 二 愛 知

○第六章 醫科大學

外科學	醫學士	宇野	朝	静岡
內科學	醫學博士	佐々木	政吉	東京
衛生學	醫學博士	緒方	正規	熊本
解剖學、組織學	醫學博士	小金井	良精	東京
藥物學	醫學士	高橋	順太郎	石川
精神病學	醫學士	榑	俣	東京
病理學、病理解剖學	醫學士	三浦	守治	東京
藥學	製藥士	下山	順一郎	愛知
藥學	製藥士	丹波	敬三	兵庫
內科學	醫學士	青山	胤通	東京

ドクトル、メヂチー子(ベルリン大學)
 ドクトル、フヒロソフヒエ(ストラスボルク大學)
 ドクトル、フヒロソフヒエ(エルランゲン大學)

外科學	醫學士	佐藤	三吉	岐阜
產科婦人科學	醫學士	濱田	玄達	熊本
裁判醫學	醫學士	片山	國嘉	静岡
眼科學	醫學士	河本	重次郎	兵庫
解剖學	助教授	今田	東	山口
藥學	製藥士	丹羽	藤吉郎	佐賀
內科學	醫學士	伊勢	錠五郎	愛知
眼科學	醫學士	甲野	棊	新潟
衛生學	醫學士	坪井	次郎	東京
小兒科學	醫師	弘田	長	高知
	助手			

外科	產科婦人科	內科	內科	藥物學科	精神病科	解剖科	產科婦人科	外科	內科	生理	內科	內科	病理科
醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士
高木	柳	馬島	保利	猪子	島村	大澤	千葉	甲野	江馬	梶田	多田	山極	山極
文種	琢藏	永德	聯	吉人	俊一	嶽太郎	稔次郎	泰造	賤男	恭一郎	貞一郎	勝三郎	勝三郎
佐賀	山口	東京	佐賀	兵庫	東京	愛知	山口	新潟	岐阜	岩手	千葉	長野	長野

產科婦人科	外科	內科	內科	裁判醫學科	外科	內科	眼科	小兒科	眼科	外科	內科	外科
醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士	醫學士
石井	田代	井上	笠原	岡本	山田	多田	渡邊	近藤	藤原	真崎	入澤	太田
龜次郎	義德	善次郎	光興	梁松	岩次郎	學三郎	文治	常次郎	道雄	又吉	達吉	弘安
東京	大分	愛媛	東京	兵庫	新潟	椽木	新潟	東京	岡山	佐賀	新潟	青森

病理	竹崎季薰	熊本
產科婦人科	別課醫學卒業生 榑	順次郎 東京
精神病科	田邊耕民	新潟
脚氣科	內田順三	石川
醫院長心得	宇野朗	静岡岡

第二 學科課程及實驗場醫院等

本學ニ左ノ二學科ヲ設ク

第一 醫學科

第二 藥學科

醫學科ノ課程ヲ四週年トシ隨テ學生ノ階級ヲ四年ニ分ツ
 藥學科課程ヲ三週年トシ隨テ學生ノ階級ヲ三年ニ分ツ
 醫學科

第一年

解剖學	一年間	每週六時
解剖學實習	第一期	每週六時
組織學	第二期	每週十二時
組織學實習	第一期	每週二時
生理學	第二期	每週七時
生理學	第三期	每週六時
病理總論	一年間	每週五時
醫史	第三期	每週一時
第二年		
解剖學實習	第一期	每週六時
藥物學	第一期	每週三時
處方學	第二期	每週二時
病理解剖學實習	第二期	每週一時

病理解剖學
 病理組織學實習
 診斷學
 內科臨床講義(隨意)
 外科總論
 外科臨床講義(隨意)
 繃帶學
 產科婦人科學
 眼科學
 醫史
 內科各論
 外科各論

第三年

第一期 每週五時
 第二期 每週二時
 第三期 每週三時
 第一期 每週三時
 第二期 每週三時
 第三期 每週六時
 第三期 每週三時
 第三期 每週三時
 第一期 每週三時
 第二期 每週一時
 第三期 每週三時
 第三期 每週二時

局處解剖學
 內科各論
 內科臨床講義
 內科外來患者臨床講義
 外科各論
 外科臨床講義
 外科外來患者臨床講義
 產科學
 產科模型演習
 眼科學
 眼科臨床講義
 皮膚病及黴毒學
 產科婦人科臨床講義

第一期 每週二時
 一年間 每週三時
 一年間 每週六時
 一年間 每週二時
 一年間 每週六時
 一年間 每週三時
 一年間 每週六時
 一年間 每週三時
 第一期 每週三時
 第二期 每週二時
 第一期 每週三時
 第二期 每週二時
 第三期 每週三時
 第一期 每週三時
 第三期 每週三時

衛生學

第四年

第三期 每週二時

內科各論

第一期 每週三時

內科臨床講義

一年間 每週三時

內科外來患者臨床講義

一年間 每週六時

外科各論

第一期 每週二時

外科臨床講義

一年間 每週六時

外科外來患者臨床講義

一年間 每週三時

外科手術實習

第三期 每週三時

產科婦人科臨床講義

一年間 每週三時

眼科學

第一期 每週一時

眼科臨床講義及檢眼鏡用法

第二期 每週三時

精神病學

第二期 每週二時

衛生學

裁判醫學

第一期 每週二時
第一期 每週三時

藥學科

第一年

製藥化學

第一期 每週五時

植物解剖學

第二期 每週二時

藥用植物學

第三期 每週三時

植物學實習

第三期 每週五時

調劑學

第一期 每週三時

實地調劑

第一期 每週十二時

有機體攻究法

第二期 每週三時

藥局方使用法實習

第三期 每週十八時

第二年

實地調劑	第一期	每週六時
植物學實習	第三期	每週五時
藥局方使用法實習	第一期	每週十八時
生藥學	第一期	每週三時
顯微鏡檢査	第二期	每週四時
裁判化學	第二期	每週五時
製藥術實習	第一期	每週二時
衛生化學	第二期	每週十八時
衛生化學	第三期	每週三時
實地調劑	第二期	每週六時
顯微鏡檢査	第一期	每週五時
裁判化學實習	第一期	每週八時
製藥術實習	第一期	每週十八時

第三年

衛生化學實習	第三期	每週十二時
藥用植物分析法實習	第三期	每週十二時
藥劑師規則	第三期	每週一時

醫學科ニ於テハ四年級ノ學年試業ヲ終ヘタル後藥學科ニ於テハ三年級ノ學年試業ヲ終ヘタル後特ニ卒業試問ヲ行ハシム其試問ハ每年九月十一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス醫學科卒業試問規則ハ左ノ如シ

但シ藥學科卒業試問規則ハ未定

醫學科卒業試問規則

第一條

醫科大學醫學科卒業試問ハ此規則ニ從ヒ之ヲ施行ス

第二條

試問委員

卒業試問ハ醫科大學教授ヲ以テ委員トス

第三條

試問時期

試問ハ毎年九月ニ始メ翌年三月迄ニ終ルモノトス然レモ學生ノ試問
ヲ醫科大學長ニ申請スルハ遅クモ八月末日迄ニ於テスヘシ
但各科試問ノ日割ハ豫メ之ヲ報告スヘシ

第四條

試問科目

全試問ヲ三大科目ニ區別ス

第一 解剖學及生理學試問

第二 外科學及眼科學試問

第三 内科學及產科學試問

學生ハ右ノ科目順序ニ從ヒ各科ノ試問ヲ受クヘシ

第五條

第一解剖學及生理學試問

此ノ試問ハ解剖、生理、病理解剖ノ三科ニ區別シ日曜日及休業日ヲ除キ
三日間ニ施行スヘキモノトス而シテ之ヲ四期ニ別テ其二期ニ於テハ
解剖學ヲ試問シ他ノ二期ニ於テハ生理學及病理解剖學ヲ試問ス
但每期八人以下ノ學生ヲ一組トナシ試問ス

一 解剖學試問

(イ)其第一期ニ於テハ骨論及内臟論ノ問題ヲ定メ各學生ニ抽籤
セシメ而シテ其說明ニ要スル所ノ標本ニ就テ試問ス

但此問題(骨論及内臟論中ニ於テ各十二乃至十五)ハ試問期ノ
始ニ於テ試問委員之ヲ撰定ス

(ロ)其第二期ニ於テハ第一期ニ於ケル如ク學生抽籤法ニ由テ組
織學ノ問題ヲ定メ其說明ニ要スル標本ヲ顯微鏡ニ就テ說明セ

シメ學生ノ學力ヲ試問ス

但此問題(十乃至十二)ハ試問期ノ始ニ於テ試問委員之ヲ撰定ス

二 生理學試問ニ於テモ亦各學生抽籤ニ由テ得ル所ノ生理學問題ニ就テ其學力ヲ試問ス

但此問題(大零二十)ハ試問期ノ始ニ於テ試問委員之ヲ撰定ス
三 病理解剖學試問

(イ)少クモ屍體ノ一腔ヲ解剖セシメ若クハ若干ノ標本ニ就キ説明セシメ必要ノ場合ニ於テハ顯微鏡ヲ使用セシム
(ロ)病理總論或ハ病理解剖學中抽籤ニ由テ定メタル問題ニ就テ説明セシム

但此問題(大零十五)ハ試問期ノ始ニ於テ試問委員之ヲ撰定ス
解剖學及生理學ノ試問ニ及第セル者ニハ試問委員ヨリ左式ノ證明書

ヲ與フ

籍 族

何 之 誰

年 月 日 生

右者何年何月幾日ヨリ幾日迄施行セシ解剖學及生理學試問ヲ經テ左ノ成績ヲ得タリ

骨論及內臟論 何

組織學 何

生理學 何

病理解剖學 何

解剖學及生理學試問全成績 何

右證明ス

年 月 日

試問委員記名

附記證明書ヲ得タル者ハ直ニ其旨ヲ學長ニ開申シ且證明書ノ日附ヨリ三日以内ニ後條科目擔任ノ試問委員ニ之ヲ示スヘシ事實止ヲ得サル原因アルニアラザレハ一大學科ノ試問ヲ受ケ他ノ試問ニ移ルノ日限ハ一週日ヲ踰ユ可ラス但之ニ違背スル者ハ當該試問期ニ於テ試問ヲ受クルヲ許サス

第六條

第二外科學及眼科學試問

此試問ハ外科學、眼科學、藥物學ノ三科ニ區別シ日曜日及休業日ヲ除キ十二日間ニ於テ施行スヘキモノトス而シテ之ヲ四期ニ別チ其二期ニ於テ外科學ヲ試問シ他ノ二期ニ於テ眼科學及藥物學ヲ試問ス但每期四人以下ノ學生ヲ一組トナシ試問ス

一 外科學試問ハ病床實驗的及論理的ニ區別ス

(イ) 病床實驗的試問ニ於テハ各學生ニ一週間一人或ハ二人ノ患者ヲ治療セシム

試業ノ初日及第二日ニハ各學生ニ外科患者一人ヲ授ケ試問委員ノ目前ニ於テ診察シ其原因、診斷、豫后及治療法等ヲ説明シ且其發見セル所ノ事ヲ翌日迄ニ病床日誌ニ登錄セシメ其後六日間ハ試問委員ト共ニ自己擔當ノ患者ヲ廻診シ病ノ經過ヲ病床日誌ニ揭ケ七日ノ後ニ於テ自己ノ考按ヲ附記シテ之ヲ試問委員ニ出サシム

學生ハ此試問中各臨床講義並ニ病室廻診ニ陪從スヘシ此際試問委員ハ外科諸病ヲ診斷セシメ其學力ヲ試問ス

(ロ) 外科論理的ノ試問ハ病床實驗的試問ト同週内ニ於テ別ニ期ヲ定メテ之ヲ施行ス而シテ問題ハ外科總論及各論ノ中ヨリ各一題ヲ

抽籤セシム

此問題(各二十四)ハ試問期ノ始ニ於テ試問委員之ヲ撰定ス

二 眼科學試問ニ於テハ若干ノ患者ニ付テ試問ス

三 藥物學試問ニ於テモ抽籤ニ由テ定ムル所ノ問題ニ就キテ試問
シ且ツ二三處方ヲ記載セシム

此問題(二十五)ハ試問期ノ始ニ於テ試問委員之ヲ撰定ス

外科學及眼科學試問ニ及第セル者ニハ試問委員ヨリ左式ノ證明書ヲ
與フ

籍 族

何 之 誰

年月日生

右者何年何月幾日ヨリ幾日迄施行セシ外科學及眼科學試問ヲ經テ左
ノ成績ヲ得タリ

外科病床實驗

外科論理

眼科學

藥物學

外科學及眼科學全成績

右證明ス

年月日

何 何 何 何

試問委員記名

附記 證明書ヲ得タル者ハ前條附記ノ手續ヲナスヘシ

第七條

第三內科學及產科學試問

此試問ハ內科學及產科婦人科學ノ二科ニ區別シ日曜日及休業日ヲ除
キ十日間ニ於テ施行スヘキモノトス而シテ之ヲ三期ニ分チ其二期ニ

於テ內科學ヲ試問シ他ノ一期ニ於テ產科婦人科學ヲ試問ス

但シ每期四人以下ノ學生ヲ一組トナシ試問ス

一 內科學試問ハ病床實驗的及論理的ニ區別ス

(イ) 病床實驗的試問ニ於テ各學生ニ一週間一人或ハ二人ノ患者ヲ治療セシム

試問ノ初日及第二日ニハ各學生ニ內科患者一人ヲ授ケ試問委員ノ目前ニ於テ診察シ其原因、診斷、豫后及治療法等ヲ説明シ且其發見セル所ノ事ヲ翌日迄ニ病床日誌ニ登錄セシメ其後六日間ハ試問委員ト共ニ自己擔當ノ患者ヲ廻診シ病ノ經過ヲ病床日誌ニ揭ケ七日ノ後ニ於テ自己ノ考按ヲ附記シテ之ヲ試問委員ニ出サシム
學生ハ此試問中各臨床講義并ニ病室廻診ニ陪從スヘシ此際試問委員ハ內科諸病ヲ診斷セシメ其學力ヲ試問ス

(ロ) 內科論理的ノ試問ハ病床實驗試問ト同週内ニ於テ別ニ期ヲ定メテ之ヲ施行ス而シテ問題ハ內科各論中ヨリ抽籤ニ由テ定ム

此問題(二十五乃至三十)ハ試問期ノ始ニ於テ試問委員之ヲ撰定ス
二 產科及婦人科學試問ニ於テハ(イ) 妊婦產婦募婦又ハ婦人科の病症及模型ニ就テ實驗的試問ヲ行ヒ(ロ) 必要ト認ルルハ抽籤ニ由テ撰定セル論理的問題ニ付テモ亦試問ス

此問題(十五)ハ試問期ノ始ニ於テ試問委員之ヲ撰定ス

內科學及產科學試問ニ及第セルモノニハ試問委員ヨリ左式ノ證明書ヲ與フ

籍 族

何 之 誰

年 月 日 生

右ハ何年何月幾日ヨリ幾日迄ニ施行セシ內科學及產科學試問ヲ經テ

左ノ成績ヲ得タル

内科病床實驗

内科論理

産科婦人科

内科産科全成績

右證明ス

年月日

何 何 何

試問委員記名

附記 此試問ヲ終リタルキハ證明書ヲ添ヘテ直ニ學長ヘ開申スヘシ

第八條

試問評決

各科ノ實驗的及論理的ノ試問ニ於テ成績ヲ評決スルヲ左ノ如シ

甲 乙 丙 丁 戊

第九條

試問大科目ノ成績ハ各科ニ於テ得タル所ノ評點ニ由テ之ヲ定ム其法左ノ如シ

甲五 乙四 丙三 丁二 戊一

再試問ニ由テ及第シタル大科目ノ成績ニハ丙以上ノ點ヲ附セス

第十條

卒業試問ノ全成績ハ解剖學及生理學試問外科學及眼科學試問内科學及産科學試問ノ三大科目ノ成績ニ由テ評決ス
學生三大科及其各科ニ於テ盡ク乙以上ノ成績ヲ得ルニアラサレハ全成績ニ甲ヲ與ヘス

第十一條

再試問

各科試問ニ於テ戊ノ成績ヲ得ルモノハ該試問期ニ於テ試問ヲ受ルヲ許サス而シテ次試問期ニ於テハ當該大科目ノ全科ヲ試問ス
一大科目ノ試問ニ於テ丁點二箇ヲ得ルトキハ戊點ヲ得タル者ト同一ノ處分ヲナス

第十二條

第三回ノ試問ヲ受ケ尙ホ及第セサルモノハ更ニ試問ヲ受クルヲ得ス

第十三條

試問申請ノ取消

學生既ニ試問ヲ申請セシ後事故アリテ該試問期中ニ試問ヲ受クル能ハスト思料スルキハ速ニ其旨ヲ學長ヘ開申スヘシ

但卒業定期ニ至リ再三試問ヲ受ケサル者ハ退學セシムルコトアルヘシ

事故

學生若シ病ニ罹リ或ハ止ムヲ得サル事故ニテ試問定日ニ出席シ難キキハ其旨ヲ學長ヘ開申スヘシ

但疾病ニテ缺席スルモノハ主治醫ノ診斷書ヲ添付シ其他ノ事故ニ由リテ缺席スル者ハ其理由ヲ詳記スヘシ事實止ムヲ得サルモノト認ルキハ其試問期ニ於テ試問ヲ終結セシム

然レモ試問期已ニ過去シタルキハ次回ノ試問期ニ於テ之ヲ繼續セシム此場合ニ於テハ落第者ト同一ノ處分ヲナスト雖モ試問ノ成績ニハ丙已上ノ評點ヲ付スルコトヲ得

本學ニ於テハ特ニ撰科生及研究生細則ヲ定ム

撰科生細則

第一條 撰科生タル者ハ總テ該科主任ノ教員又ハ醫院長ノ指揮ニ從フヘシ

第二條 撰科生ニハ主管教員或ハ醫院長ノ命ニ依リ助手ノ事務ヲ負

擔セシムルヲアルヘシ

第三條 撰科生ハ入學後一ケ年ノ終ニ於テ其年中ニ研究シタル次第ヲ詳記シテ主管教員ノ檢閱ニ供シ該教員之ニ檢定書ヲ付シテ學長ノ閱ニ供スヘシ大學長ハ其檢定書ヲ満足ナリト認定スルトキハ之ヲ證明シテ撰科生ニ交付スヘシ

第四條 撰科生ニシテ一ケ年ノ專修ヲ了ヘ更ニ之ヲ持續セント欲スル者ハ延期ヲ願出ツヘシ

第五條 醫院ニ於テハ院長或ハ其科主任醫ノ許可ナクシテ患者ヲ處置スルハ勿論治療用トシテ器械藥品等ヲ使用スルヲ許サス

研究生細則

第一條 研究生タル者ハ總テ該科主任ノ教員又ハ醫院長ノ指揮ニ從フヘシ

第二條 醫院ニ於テ研究ニ從事スル者ハ主管教員或ハ院長ノ命ニ依

リ助手ノ事務ヲ負擔セシムルヲアルヘシ

第三條 醫院ニ於テハ院長或ハ其科主任醫ノ許可ナクシテ患者ヲ處置スルハ勿論治療用トシテ器械藥品等ヲ使用スルヲ許サス

本學ニ於テハ左ノ學科實驗場ヲ設ク

- 一 解剖學
- 二 生理學
- 三 病理學
- 四 藥物學
- 五 衛生學
- 六 裁判醫學
- 七 藥學

此實驗場ハ講義及實驗ニ必要ナル器品標本等ヲ整備ス

本學ハ實驗場ノ外特ニ第一醫院ヲ帝國大學構内ニ第二醫院ヲ神田區

和泉町ニ設ク研究室ヲ置キ又學術實驗及臨床講義ニ須要ナル患者ヲ入院セシム

第一醫院ハ六區ニ別チ病室百二十患者合計二百九十二名ヲ容ル、ノ装置ヲ爲ス其區分左ノ如シ

- 第一 内科 八十五名
 - 第二 外科 八十八名
 - 第三 婦人科 四十四名
 - 第四 眼科 四十九名
 - 第五 傳染病 十九名
 - 第六 小兒科 七名
- 第二醫院ハ二區ニ別チ病室三十九患者合計百二十八名ヲ容ル、ノ装置ヲ爲ス其區分左ノ如シ
- 第一 内科 六十五名

第二 外科 六十三名

第一醫院外來診察ハ日曜日及休業日ノ外毎日之ヲ開キ内外科眼科産科婦人科小兒科的病者ヲ診療ス

第二醫院外來診察ハ日曜日及休業日ノ外毎日之ヲ開キ内外科病者ヲ診療ス

入院患者ノ費用ハ其病室及食品ノ等差ニ從ヒ上中下ノ三等ニ分ツ但シ醫療藥品ニ至リテハ固ヨリ異ナル所ナシ

貧困ナル患者ニシテ入院ヲ許ス者ハ醫療藥品及食品ノ代價ヲ徴收セズ本學ニ於テ常ニ施療患者百十名ヲ入院セシムルノ準備ヲ爲セリ

精神病學科ハ東京府巢鴨病院ニ於テ臨床講義ヲ爲ス
本邦特異ノ地方病タル脚氣ノ病性ヲ攻究センカ爲メ毎年該病流行ノ旺盛ナル時季即チ四月一日ヨリ十一月三十日ニ至ルノ間特ニ第一醫院内ニ脚氣病室ヲ開キ入院患者四十九名ヲ容レ又外來患者ヲ診察治

療ス此病室ニ於テモ亦施療患者若干名ヲ入院セシムルノ準備アリ

〇第七章 工科大学

第一 職員

長 教授工學博士 古市 公威 兵庫

教授及教師

採鑛冶金學

フエロー、ラフ、シラロジカル、ソサイチー、チノラリイ、フエロー、ラフ、キングス
コーレージ、ロンドン、ローヤル、スクール、チフ、マインズ、ロンドン シヨン、ミルン 英國

機械工學

マストル、ラフ、アーツ、シベル、エンジニール(ダブリン大學)メンバー、オフ、
インスチテュート、オフ、メカニカル、エンジニールス(ロンドン) チャールス、ヂッキンソン、ウエスト 英國

電氣工學

フラレン、メンバー、エンド、ローカル、ラノラリイ、セクレタリイ、ラフ、ゼ、
インスチテュート、シヨン、オフ、エレクトリカル、エンヂニヤース、ロンドン 工學博士 志田 林三郎 佐賀

應用化學

フエロー、ラフ、ケミカル、ソサイチー(ロンドン及ベルリン)、メンバー、オフ、
ソサイチー、オフ、ケミカル、インダストリー(ロンドン) 工學博士 高松 豊吉 東京

〇第七章 工科大学

探鑛冶金學	工學博士	巖谷 立太郎	滋賀
探鑛冶金學	理學士	渡邊 渡	東京
造船學	工學士	三好 晉六郎	東京
造船學	工學博士	辰野 金吾	佐賀
造家學	工學博士	古市 公威	兵庫
土木工學	工學博士	谷口 直貞	奈良
機械工學	理學士	白石 直治	高知
土木工學	理學士	中澤 岩太	東京
應用化學	理學士	ウイレルリアム、キンニンモンド、パルトン	英國
土木工學			

ヒュッテン、インジニール(フライベル大學)
 エンジニール、ド、ラ、マリヌ(エコール、ダップリカシオン、ダエニ、マリチム)
 マリーヌ、エンジニヤ(ローヤル、子バルコレレ、グリンウイツ)
 バツチエロル、オフ、サイエンス、シビル、エンジニール(グラスゴウ大學)
 メンバー、オフ、サニタリー、インスチテュート、オフ、グレートブリテン
 リサンシエ、エス、シヤンス
 エンジニール、デ、アール、エ、マニエフアクチュール、

造船學	若山 鉸吉	東京
造船學	宮原 二郎	静岡
造家學	小島 憲之	東京
探鑛冶金學	野呂 景義	東京
機械工學	眞野 文二	静岡
助教授		
應用化學	河喜多 能達	熊本
土木工學(英國留學)	中島 銳治	宮城
探鑛冶金學	的場 中三	三重

フエロー、オフ、セ、ケミカル、ソサイチー、(ロンドン)メンバー、オフ、セ、ソサイチー、オフ、ケミカル、インダストリー(ロンドン)
 バツチエロル、オフ、アーキテクチュール(コルネル大學)
 メンバー、オフ、インスチテュート、オフ、メカニカル、エンジニール(ロンドン)

機械工學

工學士 井口在屋 東京

メンバー、オフ、ゼ、ソサイチー、オフ、ゲミカル、インダストリー(ロンドン)

應用化學

工學士 志築岩一郎 東京

電氣工學

工學士 山川義太郎 埼玉

造家學

工學士 中村達太郎 東京

造船學

工學士 松尾鶴太郎 佐賀

土木工學

工學士 小川梅三郎 愛知

造家學

曾山幸彦 鹿兒島

採鑛冶金學

工學士 恩田宮五郎 愛知

講師

フェロー、ラフ、ゼ、インスチテュート、オフ、ブリチシユ、アーキテクト

造家學

シヨサイア、コンドル 英國

機械工學

理學士 吉田朋吉 石川

電氣工學

工學士 藤岡市助 山口

土木工學

理學士 倉田吉嗣 東京

電氣工學

工學士 淺野應輔 廣島

工業經濟學

法學士 嵯峨根不二郎 鹿兒島

造家學

木子清敬 東京

助手

造船學

工學士 富山久米吉 石川

第二 學科課程

本學ニ左ノ九學科ヲ設ケ修業ノ期限ヲ各三ケ年トス

第一 土木工學科

第二 機械工學科

フオーリン、メンバー、オフ、ゼ、ソサイチー、テレグラフヒツク、エンジニヤス、エンド、エレクトリシヤンス、(ロンドン)オノラリー、メンバー、オフ、ゼ、ナシヨナル、エレクトリック、ライト、アスソシエーション、(ユナイテッド、ステーツ、オフ、アメリカ)

測地學	第一、二期	每週二時
工藝經濟學	第一期	每週二時
意匠及製圖	第一、二期	每週十七時
實地演習	第一期	每週四時
河川、運河、港灣	第二期	每週三期
鐵道橋梁	第二期	每週五時
衛生工學	第二期	每週二時
土木行政法	第二期	每週十九時
意匠及製圖	第二期	每週十九時
卒業論文	第三期	

機械工學科

數學	第一、二期	每週三時
物理學	第一、二期	每週一時半
應用力學	第一、二期	每週一時
構造強弱論	第一、二期	每週二時
蒸汽機關	第一、二期	每週二時
機械學	第一、二期	每週一時
水力機、唧筒、起重器	第一、二期	每週二時
機械製造法	第一、二期	每週二時
土木工學製圖	第一、二期	每週四時
機械工學製圖及實驗	第一、二期	每週十六時
機械工學	第一、二期	每週三時

電氣工學
 製造冶金學
 船用機關
 工藝經濟學
 製圖及實驗
 實地演習

第三年

實地演習
 特別講義
 卒業論文

造船學科

第一年

第一二期 每週一時
 第一年間 每週二時
 第一二期 每週二時
 第一期 每週二時
 第二期 每週廿五時
 第三期 每週廿四時

第一二期 每週一時
 第三期 每週一時

數學
 物理學
 應用力學
 構造強弱論
 蒸汽機關
 機械學
 造船學
 製圖

第二年

造船學
 船用機關
 水力機、唧筒、起重器
 工藝經濟學

第一二期 每週三時
 第一年間 每週一時
 第一二期 每週二時
 第一年 每週二時
 第一二期 每週二時
 第一三期 每週四時
 第一二期 每週三時
 第一三期 每週廿四時

第一年間 每週四時半
 第一二期 每週四時
 第三期 每週二時
 第一期 每週二時

意匠及製圖

第三年

實地演習

造船學

船用機關

意匠及製圖

卒業論文

第一期 每週廿四時
第二期 每週廿六時
第三期 每週廿四時

第一期

第二期 每週五時

第二期 每週二時

第二期 每週廿八時

第三期

造兵學科

第一年

數學

物理學

應用力學

第一期 每週三時
第二期 每週一時半
第三期 每週一時

第一期

第二期

第三期

構造強弱論

機械學

蒸汽機關

火藥學

砲學

鐵冶金學

製圖及化學實驗

第二年

砲架論

彈丸論

彈道學

大砲構造論

造船學

第一期 每週二時
一年間 每週一時

第一期 每週二時
一年間 每週二時

第二期 每週二時
一年間 每週二時

第三期 每週二時
一年間 每週二十時

第一期 每週二時
一年間 每週二時

第二期 每週二時
一年間 每週二時

第三期 每週二時
一年間 每週二時

第一期 每週二時
一年間 每週二時

第二期 每週二時
一年間 每週二時

第三期 每週二時
一年間 每週二時

第一期 每週二時
一年間 每週二時

第二期 每週二時
一年間 每週二時

製作機械學	一年間	每週二時
製造冶金學	一年間	每週二時
火工學	第一期	每週二時
家屋構造	第一期	每週二時
水力機	第二期	每週二時
工藝經濟學	第三期	每週二時
意匠製圖及化學實驗	第一期	每週二時
意匠製圖	一年間	每週二十時
第三年		
實地演習	第一期	
砲架彈丸構造	第二期	每週二時
水雷學	第二期	每週一時
特別講義	第二期	每週二時
意匠製圖	第二期	每週廿八時

卒業論文	第三期	
電氣工學科		
第一年		
數學	第一期	每週三時
物理學	第二期	每週一時半
應用力學	第一期	每週一時
構造強弱論	第二期	每週二時
蒸汽機關	第一期	每週二時
機械學	一年間	每週一時
電氣工學	一年間	每週五時
物理電氣實驗	一年間	每週八時
機械製圖	一年間	每週四時

化學實驗	實地測量及製圖	電話	力性電氣應用	電燈	機械工學	水力機、唧筒、起重器	工藝經濟學	物理電氣實驗及製圖	實地演習	卒業論文
第一、二期	第三期	第一、二期	一年間	一年間	第一、二期	第三期	第一期	第一、二期	第一、二期	第三期
每週六時	每週十二時	每週一時	每週三時	每週二時	每週二時	每週二時	每週二時	每週廿六時	每週三十時	

造家學科										
第一年										
數學	應用力學	構造強弱論	測量學	地質學	配景法	建築材料及製造	家屋構造	建築沿革	自在畫	
第一、二期	一年間	第一、二期	第一期	第一、二期	第一期	第一期	第一、二期	第一、二期	第一、二期	一年間
每週三時	每週一時	每週二時	每週三時	每週二時	每週二時	每週二時	每週二時	每週三時	每週四時	

寫圖及配景圖	第一期	每週十六時
意匠及製圖	第二期	每週十六時
	第三期	每週十七時
衛生工學	一年間	每週二時
穹窿架法	第一期	每週二時
裝飾法	第一期	每週一時
建築物理	第一期	每週一時
日本建築學	一年間	每週三時
衛生建築	第二期	每週二時
特別家屋配置法	一年間	每週三時
仕樣及計算	第三期	每週三時
自在畫	一年間	每週四時
意匠及製圖	第一期	每週四時
	第二期	每週四時
	第三期	每週四時

建築條例	第一期	每週二時
自在畫	第二期	每週四時
意匠及製圖	第二期	每週四時
實地演習	第二期	每週四時
卒業論文	第三期	午後
應用化學科	一年間	每週一時
鑛物學	第一期	每週二時
物理學	第一期	每週一時半
蒸汽機關	一年間	每週一時半
機械學	一年間	每週一時

水力機、唧筒、起重器	第三期	每週二時
有機化學	一年間	每週三時
定性分析	第一期	每週二十時
定量分析	第三期	每週二十時
物理實驗	第一期	每週六時
機械製圖	第三期	每週八時
第二年		
家屋構造	第一期	每週二時
應用化學	一年間	每週三時
冶金學	一年間	每週三時
鐵冶金學	一年間	每週二時
定量分析	第一期	每週廿二時
工業分析	第三期	每週二十時

鑛物識別	第一期	每週一時
吹管分析	第二期	每週二時
機械製圖	第三期	每週八時
第三年		
應用化學	一年間	每週三時
試金術	第一期	每週七時
應用化學實驗	第一期	每週廿二時
意匠及製圖	第一期	每週六時
卒業論文	第三期	
火藥學科		
第一年		
數學	第一期	每週三時

物理學	應用力學	構造強弱論	機械學	蒸汽機關	有機化學	水力機、唧筒、起重器	製圖及化學實驗	第二年	彈丸論	彈道學	製作機械學	火工學
第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期
每週一 時半	每週一 時	每週二 時	每週一 時	每週二 時	每週三 時	每週二 時	每週二 十時	每週二 時	每週二 時	每週二 時	每週二 時	每週二 時

火藥學	砲學	應用化學	家屋構造	工藝經濟學	製圖及化學實驗	第三年	實地演習	爆裂藥	水雷學	特別講義	意匠製圖	卒業論文
第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期	第一期
每週二 時	每週二 時	每週二 時	每週二 時	每週二 時	每週二 十時	每週二 時	每週二 時	每週一 時	每週二 時	每週二 時	每週二 十八時	每週二 十八時

採礦及冶金學科

第一年

採礦學	一年間	每週四時
鑛物學	第一期	每週二時
地質學	第一期	每週二時
蒸汽機關	第二期	每週二時
機械學	一年間	每週二時
家屋構造	一年間	每週一時
測量學	第一期	每週二時
鑛物識別	第二期	每週二時
定性分析	第一期	每週三時
製圖	一年間	每週一時
	一年間	每週十二時
	一年間	每週四時

第二年

地下測量	第一期	每週二時
冶金學	一年間	每週三時
鐵冶金學	一年間	每週二時
撰鑛學	第一期	每週三時
水力機、唧筒、起重器	第二期	每週三時
鑛物識別	第三期	每週二時
試金術	一年間	每週一時
吹管分析	一年間	每週七時
定量分析	一年間	每週二時
	一年間	每週十二時
實地演習	第一期	
鑛脈論	第二期	每週三時

製造冶金學	一年間	每週二時
鑛山法律	第二期	每週二時
冶金實驗	第三期	每週八時
工學實驗	第二期	每週三時
探鑛計畫	第三期	每週四時
冶金計畫	第二期	每週四時
卒業論文	第三期	每週四時

本學内別ニ書房ヲ置キ本學所屬ノ圖書ヲ貯收シ閱覽室ヲ設ケ教員及學生ニ圖書閱覽ノ便ヲ與フ
 各教室ニ標品室圖書室及實驗室ヲ置キ標本器品機械類ヲ排列整備シ各學科研究ノ資ニ供ス

○第八章 文科大學

第一 職員

長 教授文學博士 外山正一 靜岡
 教頭心得教授文學博士 外山正一 靜岡
 教授及教師

マストル、オフ、アーツ(ミシガン大學)

社會學心理學及演習 文學博士 外山正一 靜岡

マストル、オフ、アーツ(セント、アンドリュース大學)
フエロー、オフ、ローヤル、ソサイテ、オフ、エヂンボルフ

英語、英文學 文學博士 島田重禮 蘇國

支那歴史、東洋哲學 文學博士 島田重禮 新潟

漢文 文學博士 島田重禮 新潟

日本歴史、日本法制沿革、文學博士 小中村清矩 東京

國文 文學博士 小中村清矩 東京

○第八章 文科大學

日本歴史、支那歴史、東洋哲學、漢文 文學博士 小中村清矩 東京

國語、國文 文學博士 小中村清矩 東京

物集 高見 茨城

國語博言學

パシル、ホール、チエムパイン

英國

マストル、オフ、アーツ(アモスト大學)

羅甸語

神田乃武

東京

マヂストル、アルシナム、リベラリアム、ドクトル、フヒロソフヒエー(ベルリン大學)イ
ンハイベル、デス、プロイシヨセン、ギムナジアル、オーベルレーレル、ツオイグニスセ
ス、エルステン、グラデーデス(ローヤル、ハイ、エキザミネング、コンミツジョン、ペルリ
ン)アンシアン、エレーヴ、ド、レコル、プラチツク、デ、オート、エチニード、ド、パリ
音學、近世博言學通論
エミル、ハウスク子ヒト 獨 國

マヂストル、アルシナム、リベラリアム、ドクトル、フヒロソフヒエー(ベルリン大學)
哲學、論理學、心理學、倫理學、
審美學、哲學演習
ルドウイヒ、ブッセ 獨 國

地文學、史學、地理學

マヂストル、アルシナム、リベラリアム、ドクトル、フヒロソフヒエー(ベルリン大學)
ルトウイヒ、リース 獨 國

日本歴史

文學博士

重野安繹

鹿兒島

支那歴史

久米邦武

佐賀

日本歴史

星野恒

新潟

講師

東洋哲學

吉谷覺壽

岐阜

ミスシヨ子ール、アポストリック、マヂステル、エキス、コレイジョー、
アド、エキス、テロース、パリス

佛蘭西語

ビエール、グザヴィエー、ムガブール

佛 國

英語

文學士

上田萬年

愛知

ドクトル、オフ、フヒロソフヒエー(デヨンスホブキンス大學)

精神物理學

元良勇次郎

東京

マヂストル、アルシナム、リベラリアム、ドクトル、フヒロソフヒエー(ライプチツヒ大學)

獨逸語

カール、フロレンツ

獨 國

支那語

張 滋 昉

清 國

第二 學科課程

本學ニ左ノ八學科ヲ設ケ修業ノ年限ヲ各三ケ年トス

- 第一 哲學科
 - 第二 國文學科
 - 第三 漢學科
 - 第四 國史科
 - 第五 史學科
 - 第六 博言學科
 - 第七 英文學科
 - 第八 獨逸文學科
- 哲學科
- 第一年
- 哲學史及論理學
- 史學

第一 第一學期
 第二 第二學期
 第三 第三學期
 一年間 每週三時

- 英語 一年間 每週三時
 - 獨逸語 一年間 每週三時
 - 羅甸語 一年間 每週三時
 - 國文 一年間 每週一時
 - 漢文 一年間 每週三時
 - 理學(動物學若クハ地質學) 一年間 每週三時
- 第二年
- 哲學史及心理學
- 史學 一年間 每週三時
- 英語 一年間 每週二時
- 獨逸語 一年間 每週三時
- 羅甸語 一年間 每週四時
- 社會學 一年間 每週三時

東洋哲學	一年間	每週三時
生理學	一年間	每週三時
精神物理學(隨意)	一年間	每週三時
第三年		
倫理學	第一期	每週三時
審美學	一年間	每週二時
教育學	一年間	每週二時
獨逸語	一年間	每週三時
羅甸語	一年間	每週四時
心理學講義及演習	一年間	每週二時
東洋哲學	一年間	每週四時
精神病論	一年間	每週二時
哲學演習	第一、二、三期	每週三時

精神物理學(隨意)	一年間	每週三時
國文學科		
第一年		
哲學史及論理學	第一、二、三期	每週三時
史學	一年間	每週三時
英語佛蘭西語若々、獨逸語	一年間	每週三時
日本歷史	一年間	每週二時
日本法制沿革	一年間	每週二時
國語	一年間	每週四時
國文	一年間	每週四時
漢文	一年間	每週一時
第二年		

哲學史及心理學	一年間	每週三時
史學	一年間	每週三時
英語佛蘭西語若クハ獨逸語	一年間	每週三時
東洋哲學	一年間	每週三時
日本歷史	一年間	每週二時
日本法制沿革	一年間	每週二時
國語	一年間	每週四時
國文	一年間	每週四時
支那歷史	一年間	每週一時
第三年		
倫理學	第一期	每週三時
審美學	一年間	每週二時
教育學	一年間	每週二時

英語佛蘭西語若クハ獨逸語	一年間	每週三時
東洋哲學	一年間	每週四時
社會學	一年間	每週三時
國語	一年間	每週五時
國文	一年間	每週三時
支那歷史	一年間	每週一時
漢學科		
第一年		
哲學史及論理學	第一期	每週三時
史學	第二期	每週五時
英語佛蘭西語若クハ獨逸語	一年間	每週三時
日本法制沿革	一年間	每週一時

支那法制沿革	一年間	每週三時
國文	一年間	每週一時
支那歷史	一年間	每週三時
東洋哲學	一年間	每週三時
漢文學	一年間	每週三時
第二年		
哲學史及心理學	一年間	每週三時
史學	一年間	每週三時
英語佛蘭西若々八獨逸語	一年間	每週三時
東洋哲學	一年間	每週六時
日本法制沿革	一年間	每週一時
支那法制沿革	一年間	每週三時
日本歷史	一年間	每週一時

國文	一年間	每週一時
支那歷史	一年間	每週三時
漢文學	一年間	每週二時
第三年		
倫理學	第一期	每週三時
審美學	一年間	每週二時
教育學	一年間	每週二時
東洋哲學	一年間	每週七時
社會學	一年間	每週三時
日本歷史	一年間	每週一時
支那法制沿革	一年間	每週二時
支那歷史	一年間	每週三時
漢文學	一年間	每週二時

國史科

第一年

哲學史及論理學

史學

英語佛蘭西語若クハ獨逸語

日本歷史及地理

日本法制沿革

國文學

支那歷史及法制

法制沿革

第二年

哲學史及心理學

第一二期
每週三時

第三期
每週五時

一年間
每週三時

一年間
每週五時

一年間
每週二時

一年間
每週一時

一年間
每週三時

一年間
每週三時

一年間
每週三時

史學

英語佛蘭西語若クハ獨逸語

日本歷史及地理

日本法制沿革

國文學

支那歷史及法制

法制沿革

第三年

倫理學

審美學

教育學

英語佛蘭西語若クハ獨逸語

東洋哲學

第一期
每週三時

一年間
每週二時

一年間
每週二時

一年間
每週三時

一年間
每週四時

羅甸語	一年間	每週四時
教育學	一年間	每週二時
史學及地理學	一年間	每週九時
日本歷史	一年間	每週一時
博言學科		
第一年		
哲學史及論理學	第一 第二 第三 期	每週三時 每週五時 每週三時
史學	一年間	每週三時
英語	一年間	每週三時
獨逸語	一年間	每週三時
羅甸語	一年間	每週三時
國文	一年間	每週五時

漢文	一年間	每週四時
第二年		
哲學史及心理學	一年間	每週三時
史學	一年間	每週三時
英語	一年間	每週三時
獨逸語	一年間	每週三時
羅甸語	一年間	每週四時
佛蘭西語	一年間	每週二時
國文	一年間	每週四時
漢文	一年間	每週二時
比較博言學	一年間	每週一時
朝鮮語	一年間	每週二時
梵語	一年間	每週二時

×印ノ二課目中一課目ヲ撰修セシム
第三年

英語	一年間	每週三時
獨逸語	一年間	每週三時
羅甸語	一年間	每週四時
教育學	一年間	每週二時
國文	一年間	每週四時
漢文	一年間	每週三時
比較博言學	一年間	每週一時
支那語(俗語)	一年間	每週三時
佛蘭西語	一年間	每週二時
朝鮮語	一年間	每週二時
梵語	一年間	每週二時

×印ノ三課目中一課目ヲ撰修セシム

英文學科

第一一年	第一一年	第一一年	第一一年	第一一年	第一一年	第一一年	第一一年	第一一年	第一一年
哲學史及論理學	史學	獨逸語	羅甸語	佛蘭西語	英語	哲學史及心理學	史學	哲學史及心理學	史學
一年間	一年間	一年間	一年間	一年間	一年間	一年間	一年間	一年間	一年間
每週三時	每週三時	每週三時	每週三時	每週三時	每週七時	每週三時	每週三時	每週三時	每週三時

獨逸語
 羅甸語
 東洋哲學
 音學及近世博言學通論
 英語

第三年

一年間 每週三時
 一年間 每週四時
 一年間 每週二時
 一年間 每週七時

第一期 每週三時
 一年間 每週二時
 一年間 每週三時
 一年間 每週四時
 一年間 每週二時
 一年間 每週九時

獨逸文學科

第一年

哲學史及論理學
 史學
 英語
 羅甸語
 佛蘭西語
 獨逸語

第二年

第一第一
 第二二期
 第三期期

一年間 每週三時
 一年間 每週五時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時
 一年間 每週七時

一年間 每週三時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時
 一年間 每週四時

東洋哲學	一年間	每週二時
音學及近世博言學通論	一年間	每週二時
獨逸語	一年間	每週七時
第三年		
倫理學	第一期	每週三時
審美學	一年間	每週二時
英語	一年間	每週三時
羅旬語	一年間	每週四時
教育學	一年間	每週二時
獨逸語	一年間	每週九時
正課外左ノ隨意學科ヲ設ク		
史學講義	一年間	每週二時
伊太利語	一年間	每週二時

但此隨意學科ハ各分科大學學生文科大學長ノ認可ヲ受ケ之ヲ修ムルコトヲ得

學生中正課外ニ某課目ニ就キ講義演習ヲ請フモノアルキハ教科ノ都合ニ依リ特ニ此輩ノ爲メニ之カ講義演習ノ課ヲ設クルコトアルベシ

中學校等ノ教員ヲ補充センカ爲メ當分本學ニ特約生ヲ置キ特ニ教育學科ヲ講習セシム其規則摘要左ノ如シ

特約生教育學科規則摘要

第一 特約生教育學科ハ高等尋常兩中學校教諭タルヘキモノヲ養成スル爲メ設立スルモノニシテ已ニ諸科學ノ學修ヲ了リシモノヲシテ尙ホ教育學及教授方ヲ研修セシムルモノトス

第二 文學士理學士又ハ文科大學理科大學ニ於テ二科目以上ノ撰科ヲ完了セルモノニシテ特約生教育學科修業ヲ願フモノハ試驗ヲ用

井ス入學ヲ許可スヘシ

第三 文部省學力檢定試験ニ及第シタル尋常師範學校教員及尋常中學校教員ニシテ特約生志願ノ者ハ第五項ニ掲クル英語ノ入學試験ヲ施スヘシ

第四 第二項第三項ニ掲クル者ニ非スシテ特約生志願ノ者ハ第五項ノ英語入學試験ヲ施シ且左記ノ十三科目中二科目ノ試験ヲ施スヘシ

- 一 倫理學
- 二 和文學
- 三 漢文學
- 四 地理學
- 五 史學
- 六 數學
- 七 物理學
- 八 化學
- 九 生理學
- 十 動物學
- 十一 植物學
- 十二 金石學及地質學

十三書學

第五 第三項及第四項ニ該當スル志願者ノ英語ノ學力ハ左ニ掲クル

三書中何レノ章句モ之ヲ理解解釋翻譯及註解スルノ力アルヲ要ス

一 シエホン氏論理學(サイエンス、プライメル)

二 ベイソナル氏教育史

三 ベイソ氏エジュケーション、アス、エ、サイエンス

右ノ外英語ノ談話ヲ解シ且自ラ英語ヲ以テ談話シ得ルヲ要ス

第六 第四項ニ該當スル志願者ノ試験ヲ要スル二學科ハ高等師範學校ノ學科ヲ修了シタルモノト同一ノ學力アルヲ要ス

第七 特約生ハ修學中教育學科講授ノ外二科目ヲ撰修セシムルモノトス即チ第二項ニ該當スルモノハ大學科程トシテ學修シタル學科中二科目ヲ撰修セシメ第三項第四項ニ該當スル者ハ第四項ニ掲クル十三科目中二科目ヲ撰修セシム又第四項ニ掲クル十三科目ノ外

選修科トシテ英語若クハ獨逸語ヲ撰ムコトヲ得

第八 第三項及第四項ニ該當スル志願者ニシテ二科目ノ一トシテ英語ヲ撰ムモノハ第五項ノ學力ヲ要スルノ外高等中學本科一部ノ學科(法科文科ヲ專)卒業者ト同一ノ學力ヲ有シ且ツ英語ノ談話自在ナルヲ要ス

第九 第三項及第四項ニ該當スル志願者ニシテ二科目中ノ一トシテ獨逸ヲ撰ムモノハ高等中學本科一部ノ學科(前項ニ)卒業者ト同一ノ學力ヲ有シ且獨逸語ノ談話自在ナルヲ要ス

第五項ニ掲クル英語ニ要スル學力ハ獨逸語ヲ撰ムモノニ於テモ亦之ヲ要ス

第十 特約生ノ課業ハ教育學講義教育學演習レキニテラレバレトシヨシ豫修科及體操術トシ又終期ニ於テ某學校ニ就キ授業方ヲ實修スルモノトス

第十一 特約生ハ修業ノ終ニ於テ最終試験ヲ施ス其試験ノ方法左ノ

如シ

一 教育學科試験

二 撰修學科試験

文學士理學士及文科大学理科大学ニ於テ二科目以上ノ撰科ヲ完了セル者ニ非サル特約生ハ右ノ外左ノ一科ヲ加フ

二 英語試験

第十二 教育學科最終試験ハ學科講義及演習ニ於テ授ケタル各學科全體ノ試験ヲ施スヘシ

第十三 撰修學科二科目ノ最終試験ハ該撰修科ニ就キ更ニ深ク研究セシヤ否ヲ點檢スルニアリ

一 文學士理學士及文科大学理科大学ニ於テ二科目以上ノ撰科ヲ完了シタルモノニシテ特約生タルモノハ撰修學科二科目ニ就キ曾テ講授セラレタル講義ヲ完ク復習シタルノミナラス更ニ

其三年間ノ學業ヲ教育學理ノ點ヨリ研究シタルノ成績ヲ表スルヲ要ス

二 高等師範學校卒業生ニシテ特約生タルモノハ撰修二科目ニ就キ之ヲ復習シタルノミナラス又其學科授業ノ方法ヲ研究シタル成績ヲ表ズルヲ要ス

三 第四項ニ該當スル特約生ハ特約生學科ニ入學ノトキ撰修シタル學科ヲ在學中研修シ且其學科授業ノ方法ヲ研究シタル成績ヲ表スルヲ要ス

第十四 第十一項第三款ノ英語試験ハ英語及作文ノ二課稍熟練シタルノ成績ヲ表スルヲ要ス

第十五 特約生ハ學科上ノ妨碍トナラサルキハ大學中他學科ノ講義ヲ聽聞スルヲ得

第十六 第十一項第十二項第十三項ニ掲クル最終試験ヲ了シタル特

約生ニハ其ノ修業學科即チ教育學授業方及撰修二科目試験ノ成績ニ依リ證書ヲ授クヘシ

但第三項第四項ニ該當スルモノニハ英語ノ成績ニ就キ別ニ證明書ヲ與フヘシ

○第九章 理科大學

第一 職員

長 教授理學博士 菊地大麓 東京

教頭 教授理學博士 矢田部良吉 東京

教授及教師

ドクトル、オフ、メジシシ(ダブリン大學)フヘロー、オフ、ローヤル、ソサヘチー、
フヘロー、オフ、ゼ、インスチテュート、オフ、ケミストリー、フヘロー、オフ、ケミ、
カル、ソサヘチー、ロンドン及ベルリン
エドワルド、ダイバルス 英國

化學

パチエロル、オフ、サイアンセス(コル子ル大學)

植物學

理學博士 矢田部良吉 東京

マストル、オフ、アーツ(英國ケンブリッヂ大學)

數學

理學博士 菊地大麓 東京

パチエロル、オフ、フヒロソフヘー(エール大學)

物理學

理學博士 山川健次郎 青森

○第九章 理科大學

化學

フエロー、オフ、ケミカル、ソサヘチー、ロンドン

理學博士 櫻井錠二 石川

ドクトル、オフ、フヒロソフヘー(デボンズホップキンス大學)

動物學

理學博士 箕作佳吉 岡山

ドクトル、オフ、サイアンセス(エヂンホルグ大學)フヘロー、オフ、
ローヤル、ソサヘチー、オフ、エヂンボルグ

物理學

カルギール、ジー、ノット 蘇國

リサンシエ、エス、シヤンス、マテマチック(フハキユルテト、デ、
シヤンス、ド、パリ)

星學

理學博士 寺尾壽 福岡

ドクトル、フヒロソフヘー(ライプシツク大學)

地質學

理學博士 小藤文次郎 島根

鑛物學

和田維四郎 滋賀

ドクトル、フヒロソフヘー(ミュニツク大學)

古生物學

原田豊吉 岡山

動物學 飯島 魁 静岡
 地震學 關谷 清景 岐阜
 力學 北尾 次郎 東京
 數學 藤澤 利喜太郎 新潟
 助教授
 動物學 石川 千代松 静岡
 數學 三輪 桓一郎 東京
 化學 吉田 彦六郎 廣島

ドクトル、フヒロソフヒエー(ライプシツク大學)
 ドクトル、フヒロソフヒエー、エト、マギステル、リベラリウム、アルチヨム、(グツチンゲン大學)
 ドクトル、フヒロソフヒエー(ストラスボルグ大學)
 ドクトル、フヒロソフヒエー(フライベルグ)

地質學 菊池 安 茨城
 植物學 大久保 三郎 東京
 化學 併和 爲昌 岡山
 植物學 松村 任三 茨城
 助手
 物理學 長岡 半太郎 長崎

第二 學科課程
 本學ニ左ノ七學科ヲ設ケ修業ノ期限ヲ各三ヶ年トス
 第一 數學科
 第二 星學科
 第三 物理學科

- 第四 化學科
- 第五 動物學科
- 第六 植物學科
- 第七 地質學科

數學科

第一年

- 微分、積分 一年間 每週五時
- 解析幾何 一年間 每週三時
- 力學初步 一年間 每週至四時
- 球面星學 一年間 每週二時
- 數學演習 一年間 每週二回午後
- 物理學實驗 一年間 每週二回午後

獨逸語

第二年

- 獨逸語 一年間 每週三時
- 高等解析 一年間 每週三時
- 高等代數學 一年間 每週二時
- 最小二乘法 第一期 每週一時
- 力學 第二期 每週二時
- 高等物理學 一年間 每週五時
- 高等數學雜論(隨意) 一年間 每週至二時
- 數學演習 一年間 每週二回午後
- 物理學實驗 一年間 每週二回午後
- 獨逸語 一年間 每週三時

第三年

函數論

一年間 每週三時

力學
 高等物理學
 數學演習
 高等數學雜論(隨意)
 星學理論(隨意)
 力學(隨意)

一年間 每週三時
 一年間 每週六時
 一年間 每週二回午後
 一年間 每週一至二時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時

星學科

第一年

微分積分
 解析幾何
 力學初步
 球面星學

一年間 每週五時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時
 一年間 每週三時

實地星學
 數學演習
 獨逸語

第二年

高等解析
 最小二乘法
 力學
 高等物理學
 星學
 星學實驗
 數學演習
 物理學實驗
 獨逸語

一年間 每週三時
 第一二期 每週一時
 第一二期 每週二時
 第一二期 每週二時
 第一二期 每週三時
 第一二期 每週四時
 第一二期 每週四時
 一年間 每週一回午後
 一年間 每週三回午後
 一年間 每週三時

第三年

力學

一年間 每週三時

星學理論

一年間 每週三時

數學演習

一年間 每週二回午後

星學實驗

力學(隨意)

一年間 每週三時

函數論大意(隨意)

一年間 每週三時

物理學科

第一年

微分積分

一年間 每週五時

解析幾何

一年間 每週三時

力學初步

一年間 每週三時至四時

球面星學

一年間 每週二時

化學實驗

第一期 每週三回午後

物理學實驗

第三期 每週三回午後

數學演習

一年間 每週二回午後

獨逸語

一年間 每週三時

第二年

高等解析

一年間 每週三時

最小二乘法

第一期 每週一時

力學

一年間 每週三時

高等物理學

一年間 每週五時

數學演習

一年間 每週一回午後

物理學實驗

獨逸語

一年間 每週三時

第三年

力學

一年間 每週三時

高等物理學

一年間 每週六時

數學演習

一年間 每週二回午後

星學實驗

一年間 每週四時

物理學實驗

力學(隨意)

一年間 每週三時

化學科

第一年

微分積分

一年間 每週三時

力學初步

一年間 每週三時至四時

高等物理學

第二期 下半年
第三期 每週三時

第三年

化學理論ノ歴史(隨意)

第一期 每週二時

無機化學

生理化學及實驗

化學實驗

獨逸語

第二年

高等物理學

物理學實驗

無機化學

有機化學

化學實驗

獨逸語

一年間 每週三時

第一期 每週三時

一年間 每週三時

第一期 每週五時

一年間 每週二回午後

一年間 每週三時

一年間 每週三時

一年間 每週三時

理論及物理化學
有機化學
光線化學及實驗
化學實驗

第一期 每週二時
第二期 每週三時
第三期 每週一回午後

動植物學科

第一年

普通動物學
動物學實驗
植物學(組織及形質)
植物學實驗
地質學
生理化學及實驗

一年間 每週三時
一年間 每週八時
一年間 每週二時
一年間 每週八時
一年間 每週二時
第一期 每週三時

礦物及岩石實驗
獨逸語

第二年

特別問題講義(隨意)
植物學(分類及應用)
植物學實驗
有脊動物比較解剖
組織學及發生學
生理學
古生物學
獨逸語
臨海實驗

第一期 每週二時
第二期 每週三時
第三期 每週四時
時々 每週二時
一年間 每週十時
第一二期 每週三時
第一三期 每週十時
一年間 每週三時
一年間 每週二時
一年間 每週三時
一年間 每週三時

動物學科

第三年

特別問題講義(隨意)

時々 每週二時

實地研究

寄生動物學(隨意)

第一期 每週二時

バクテリア學

第三期 每週六時

植物學科

第三年

植物學

一年間 每週三時

植物學實驗

一年間 每週廿時

バクテリア學

第三期 每週六時

地質學科

第一年

岩石學

一年間 每週二時

地質學

一年間 每週二時

地質學叢談

一年間 每週二時

礦物學

一年間 每週二時

植物學

一年間 每週二時

普通動物學

一年間 每週三時

植物學實驗

一年間 每週二時

化學實驗

一年間 每週六時

地質學實驗

一年間 每週廿時

獨逸語

一年間 每週三時

地質巡驗

第二年

地質學叢談	一年間	每週二時
古生物學	一年間	每週二時
古生物學實驗	一年間	每週三時
晶像學	一年間	每週二時
動物學實驗	一年間	每週四時
化學實驗	一年間	每週六時
地質學實驗	一年間	每週廿時
獨逸語	一年間	每週三時
地質學	一年間	每週二時
地質學叢談	一年間	每週二時
地質學實驗	一年間	每週廿時

第三年

以上諸學科ノ外理科大学ニ於テハ分科大学々生特ニ工科大学造家學科學生等ノ爲メニ左ノ講義ヲ開ク

地震學(隨意)

第二期 每週一時
第三期

理學ニ通シタル者ノ急要ヲ充サシカ爲メニ當分理科大学内ニ簡易講習科ヲ設ク其規則左ノ如シ

簡易講習科規則

- 第一 簡易講習科ノ年限ヲ二ケ年トス
- 第二 簡易講習科ノ入學志願者ハ左ノ資格ヲ有スルモノタルヘシ
 - 年齢 十八歳以上
 - 品行 方正
 - 學力 尋常中學校卒業以上ニ當ル者
- 第三 入學志願者ハ下ニ掲クル課目ニ付テ試験ヲ行ヒ成績最優等

ナル者ヲ撰舉シ若干名ヲ限リ入學ヲ許ス
 但人員ハ本科ノ都合ニ由リ毎年之ヲ定ム

第四 簡易科ヲ二部ニ分チ其第一部ニ於テハ專ラ數學物理學化學ヲ修メ第二部ニ於テハ動物學植物學地學ヲ修ム各部ノ課程ハ後ニ記スルカ如シ

第五 入學受驗料ハ金貳圓トス

第六 受業料ハ毎月金貳圓トス

第七 定期ノ試験ニ及第シタル者ニハ證書ヲ授ク

入學試驗課目

- 一 國語及漢文
- 一 英語
- 一 算術、代數、幾何
- 一 物理學、化學大意

第一部課程

第一年

- 算術 二時
- 代數 三時
- 幾何學 三時
- 三角法 二時
- 化學講義 三時
- 同 實驗 一回
- 天文學 一時

第二年

- 代數 二時
- 解析幾何 三時
- 微積大意 二時

一、二期

一、二期

一、二期

物理學講義
同 實驗

四時
一回

第二部課程

第一年

動物學 普通動物及生理

三時

植物學 形態學、解剖、生理

三時

地學 地文及地理

四時

天文學

一、二期

三時

第二年

動物學 發生組織等

四時

植物學 分類

三時

地學 礦物地質

四時

第一年及第二年隨意科課目

物理學、化學、地震學

理科大學ノ所轄ニ屬セル諸種ノ標本模形并ニ器械ハ皆之ヲ各教室及ヒ諸實驗所ニ配置シ主任教授ヲシテ之ヲ保管セシム
理科大學各教室實驗場ノ外理科大學ノ管理ニ屬スル實驗所ハ左ノ四箇トス

第一 東京天文臺

第二 地震學實驗所

第三 植物園

第四 臨海實驗所

東京天文臺

東京天文臺ハ專ラ天象觀測及ヒ編曆ノ事業ヲ施行シ且ツ大學院及ヒ

理科大學々生ノ實地授業ノ用ニ供スル所トス其位置ハ東京市麻布區
飯倉町三丁目舊海軍觀象臺址ニ在リ現今採用スル所ノ經緯度ハ經度
正百三十九度四十四分三十秒三ニシテ緯度ハ北三十五度三十九分十
七秒五トス

本臺ノ設置ハ舊海軍觀象臺ノ天象部内務省地理局觀測課ノ天象部理
科大學ノ舊天象臺ノ合併ヨリ成レルモノナリ而シテ現今本臺備附ノ
星學器械中最モ重要ナル者ハ第一レプソルドノ子午儀筒口ノ直徑一
三五センチメートル【焦點距離ニ一七センチメートル】第二メルツ及ヒ
レプソルドノ子午環筒口ノ直徑一四三センチメートル【焦點距離一四
九圖ノ直徑五六四】第三スロートン及ヒスミスノ赤道儀筒口二〇〇【焦
點距離二七〇】メルツノ赤道儀筒口一六二【焦點距離二四五】ナリ
右諸器械ノ中スロートン及ヒスミスノ赤道儀ハ從前内務省ニ屬セシ
モノニシテ該省地理局觀測課構内ニ裝置シ未タ之ヲ本臺ニ移轉セス

因テ毎日日本臺ヨリ出張シテ之ヲ觀測スルコト、ス

本臺ハ水路部ノ依頼ニ應シ徑度測量ノ爲メ該部ヨリ出張スル技士ヲ
シテ本臺備付ノ子午儀ヲ使用セシムルコトアリ

本臺ハ遞信省ノ依頼ニ應シ全國電信局ニ時刻ヲ報スル爲メ毎日東京
電信局ニ正午時ヲ通報ス

本臺ハ陸軍省ノ依頼ニ應シ毎日正午ノ號砲發射ノ用ニ供スル時辰儀
ノ時差ヲ測定シテ號砲主務者ニ交附ス

本臺ニ於テハ各天文臺ノ例ニ依リ毎年若干回本臺觀測事業ノ報告書
ヲ歐文ニテ編製シ之ヲ東京天文臺年報ト號シ以テ歐米諸國天文臺ニ
寄贈シ其觀測事業ノ報告書ト交換ス是本臺ノ事業上最モ必要ノ事ナ
リトス

地震學實驗所

地震學實驗所ハ明治十三年ノ創設ニ係ル前機械工學教授ユーイング

氏曾ア本所ニ於テ水平動及ヒ上下動地震計ヲ考按シ之ヲ製造セシカ
 今ヤ該器械ハ理科世界中ニ能ク其名ヲ知ラル、ニ至レリ加之本所ノ
 考按ニ係ル數種ノ器械ハ内外各國ニ流傳シ現今之ヲ使用スルモノ鮮
 ナカラス又本學ニ於テ此等ノ器械ヲ使用シテ地動ノ性質ヲ研究シ新
 奇有益ノ結果ヲ得ルヲ頗ル多キハ時々已ニ之ヲ世上ニ報道セリ而シ
 テ目下設置スル所ノ地震計ハ殆ト完備シ極微ノ地動ヨリ最大ノ震動
 ニ至ルマテ細大學ケテ驗測スルヲ得ルニ至レリ且ツ各種ノ地震計ヲ
 府下ノ各地ニ配置シ或ハ之ヲ以テ地震ノ建築物ニ及ホスノ影響及ヒ
 地質地形上ニ因リテ變化スルノ模様ヲ研究ス近來歐米ノ學士會等ヨ
 リ本所ニ於テ出版セル書籍ノ寄贈又ハ交換ヲ依頼シ來ルモノ鮮ナカ
 ラス亦以テ其名聲ノ漸ク世界各國ニ傳播スルヲ見ルヘシ又地震學教
 授ハ地質學及ヒ其他ノ學生ニ地震學ノ講義ヲ授ケ又斯ノ學ニ關係セ
 ル數多ノ圖書器械離形ヲ具備シ以テ廣ク世上ノ參考ニ供ス

工科大學教授ジョン・ミルン氏ハ本所ニ對シ時々有益ナル幫助ヲ與フ

植物園

帝國大學植物園ハ大學ノ西北凡ソ二十町小石川久堅町ニ在リ本學々
 生研究ノ爲メニ日々標品ヲ本學ニ送致シ又植物學昆蟲學等ヲ修ムル
 學生時々本園ニ入リテ其學ヲ所ヲ實驗ス園中ニハ内外産ノ植物三千
 餘種アリ其最大ナル區分ニハペンタム及ヒフツケル氏ノ分類法ニ從
 テ諸種ノ植物ヲ列植シ又他ノ區分ニハ藥用植物及ヒ日蔭植物等各其
 類ヲ分チテ栽培ス又盆栽ニ至リテハ珍奇ノ種類少カラス歐洲風ノ温
 室ニハ熱帶地方ニ産出スル數多ノ植物ヲ培養シ又日本風ノ温室即チ
 所謂陸室唐室大坂室穴室等ノ設置アリ皆培養保育ノ用ニ供ス園ノ中
 央ニ家屋アリ事務所講義所實驗所等皆其中ニアリ園ノ西北一區ノ庭
 園アリ庭園ノ西家屋アリ集會所ト稱ス主トシテ之ヲ諸學術會ノ集會
 等ニ用フ

植物園ニ收藏スル乾燥植物標品ハ其數夥多ナリト雖モ仍ホ未ダ理科大學植物實驗室ニ備フルモノ、如キ完備ニ至ラス大學實驗室ニハ四千餘種ノ内國產標品及ヒ數多ノ外國產標品アリ植物園及ヒ大學實驗室ハ常ニ其有餘ノ標品ヲ以テ外國ノ植物園大學校植物學士ノ所有セル標品ト交換シ又其種子ヲモ互換ス

臨海實驗所

臨海實驗所ハ相摸國三浦郡三崎町ニアリ明治十八年中本學ハ實驗所建設地ヲ卜定シ二十年三月建築全ク落成ス爾來生物學々生ヲシテ卒業前少クモ一學期ハ本所ニ經過シ專ラ實驗ニ從事セシム
三崎ノ地タル從來博物學士ノ好採集地ト稱シハイヤロチマ(拂子貝)ベシメクライナス(駿河ノ方言ニテ鳥ノ足ト稱セルモノ)其他稀有ノ海產動植物ノ棲息スル有名ノ區域ナリ

○第十章 大學院

規程

第一 大學院ニ入ル學生ハ其特ニ攷究セント欲スル學科ヲ定メテ帝國大學總長ニ願出ツヘシ學力優等品行端正ノ者ニ限リ評議會ノ議ヲ經テ之ヲ許可ス
分科大學卒業生ニ非サル者ハ特ニ設ケタル試驗ニ依リ其學力ヲ檢定ス

第二 帝國大學總長ハ大學院學生ノ攷究セント欲スル學科ノ主管分科大學長ニ諮詢シ教授ノ中ヨリ其指導ヲ擔當スヘキモノヲ指定シ學生ハ其指導ニ從ヒ攷究ノ業ニ從事スルモノトス

第三 大學院學生ハ學術若クハ技藝攷究ノ爲メ入學ノ初メ二ケ年間分科大學ニ於テ研究生タルヲ要ス

第四 大學院學生ノ學位試驗ハ大學院入學後五ケ年ノ後帝國大學總

○第十章 大學院

長特ニ委員ヲ選定シテ之ヲ行フ

第五 大學院學生ニシテ其攷究期限内ニ於テ品行不良學業懈怠若クハ疾病ニ罹リ成業ノ目的ナキ者ハ之ヲ除名ス

第六 大學院學生ハ授業料ヲ徵收セス

但分科大學ニ於テ研究生タルノ間ハ研究科規程ニ依リ授業料ヲ徵收ス

入學規程

第一 分科大學卒業生ニシテ大學院ニ入ラント欲スルモノハ卒業後

第一號書式ノ願書ヲ其分科大學長ヲ經テ帝國大學總長ニ出タスヘシ

第二 分科大學ノ卒業生ニアラスシテ大學院ニ入ラント欲スルモノ

ハ第二號書式ノ願書ニ學業履歷書及第三項ニ掲クル卒業證書アルモノハ其證書ヲ添ヘ毎年三月三十一日マテニ帝國大學總長ニ出ス

ヘシ

第三 前項ノ志願者ハ大學院規程ニ依リ學力檢定ノ試問ヲ受ケ且ツ高等中學校若クハ文部大臣ニ於テ之ト同等ノ學科程度ヲ具備スルト公認シタル學校ノ卒業證書ヲ受領シタル者ニアラサレハ更ニ豫備學科試問ヲ受ケヘキモノトス

第四 第二項ノ志願者ハ受験料金三拾圓ヲ帝國大學會計掛ニ納ムヘシ

但若シ試問施行ノ前ニ於テ自己ノ都合ニ依リ入學願ノ取消ヲ乞フコトアルトキハ其受験料ヲ返付ス

第五 入學許可ヲ得タルモノハ誓式ヲ行ヒ大學院學生簿ニ記名スヘシ

第一號書式

入學願書